

令和6年9月定例会 総務委員会（付託）

令和6年9月26日（木）

〔委員会の概要 知事戦略公室・企画総務部関係〕

福山委員長

ただいまから総務委員会を開会いたします。（10時33分）

直ちに議事に入ります。

これより知事戦略公室・企画総務部関係の審査を行います。

知事戦略公室・企画総務部関係の付託議案については、さきの委員会において説明を聴取したところでありますが、この際、理事者側から報告事項があればこれを受けることにいたします。

【報告事項】

○ 県都のまちづくりに向けた知事・市長会談について（資料1）

○ 令和5年度徳島県内部統制評価報告書について（資料2－1、2－2）

吉岡知事戦略公室長

知事戦略公室から、1点御報告申し上げます。

資料1を御覧ください。

県都のまちづくりに向けた知事・市長会談についてでございます。

資料の説明に先立ちまして、会談実施の経緯について申し上げます。

去る9月10日、徳島市議会において遠藤市長から、市民が強く待ち望む新ホール整備を進めるため、県の責任ある対応案について早急な提示を求めたいとの意向を表明されたことを受けて、県議会9月定例会の開会日に、知事より、県都のまちづくりを加速していくため、近日中に遠藤市長とのトップ会談を行い具体的な協議を行いたい旨を表明したことから、早急に日程調整を行い、9月14日に両者の会談の場が設けられたところであります。

資料に移りまして、1の目的であります。県都魅力度アップ推進ワーキンググループにおいて、県市の実務者同士で進めてまいりました協議を踏まえ、県都のまちづくりの方向性について意見交換を行うため、知事と市長が会談いたしました。

2の概要について、記載のとおり9月14日土曜日15時から、徳島グランヴィリオホテルにおいて会談を行いました。

出席者は、知事、市長のほかに、村上副知事、瀬尾第二副市長等が出席いたしました。

3の会談の内容についてでございますが、まず、県から徳島市に対し、県都のまちづくりに関する今後の取組方針について御説明申し上げ、知事、市長の両者が確認した上で、その内容について合意いたしました。

別紙を御覧ください。

両方で合意いたしました今後の取組方針について、その内容を御説明いたします。

まず、一つ目の丸でございます。

新ホール整備につきましては、県から提案しております、藍場浜公園西エリアにおける整備に向け、県市協調で進めるとの内容でございます。

次に、二つ目の丸でございます。

県市協調新ホール整備に関する基本協定に基づき、これまで徳島市が担ってきました役割を考慮し、県市協調によるまちづくりの取組を加速させる観点から、徳島市が今後実施するまちづくり事業を支援するため、県において、仮称ではございますが、県都のまちづくり推進基金を設置するとの内容でございます。

続いて、三つ目の丸でございます。

以上の二つを県市両者で進めて行くため、その根拠となる県市基本協定等について所要の改定を行うとの内容でございます。

最後に、四つ目の丸でございます。

アリーナ整備や中央卸売市場の再整備など、広く県都のまちづくりを推進するため、引き続き県市が連携し取組を進めるとの内容でございます。

そして最後に、これらの事項について、県議会、市議会に対し十分な説明を行い、県市協調の下、県都のまちづくりを推進するという今後の取組方針について、知事、市長の両者で確認し、合意したところでございます。

知事戦略公室からの御報告は以上でございます。

御審議のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

上田企画総務部長

続きまして、企画総務部から、1点御報告申し上げます。

資料2-1を御覧ください。

令和5年度徳島県内部統制評価報告書についてでございます。

地方自治法第150条第4項の規定による評価を行い、報告書を作成し、去る9月24日に県議会議長宛てに提出いたしましたので、御報告させていただきます。

まず、1の内部統制の整備及び運用に関する事項についてでございます。

内部統制は、組織目的の達成を阻害する事務上の要因をリスクとして識別及び評価し、対応策を講じることにより、リスクを一定の水準以下に抑え、事務の適正な執行を確保するものでございます。

次に、2の評価手続でございます。令和5年度を評価対象期間として、財務に関する事務について評価を実施したところでございます。

3の評価結果でございますが、重大な不備は認められず、評価基準日において、有効に整備、評価対象期間において有効に運用されていると判断いたしました。

続きまして、2ページをお願いいたします。

5の付記事項でございます。

（1）過年度の自動車税種別割の課税誤りでございますが、税務課において、令和元年度の徳島県税条例を改正後、自動車税種別割の一部について課税額が過大となっていた事案を令和5年度に把握したということでございまして、整備上の重大な不備に該当すると判断いたしました。

当該不備の把握後、速やかに条例改正していただき、適切な状況を回復しており、今後は、徹底した確認作業等により再発防止に取り組んでまいります。

続きまして、6のその他の（1）制度導入前の不適正な事務処理でございます。

観光政策課における職員の非行に起因する不適正な事務処理事案が、内部統制制度導入以前の令和5年度に発覚しました。

当該事案の把握後、対象職員への処分や不適切な経費の返還請求を行うとともに、適正な業務執行体制の確立に向け、事務の点検・見直し等を改めて実施したところでございます。

なお、当該評価報告書につきましては、3ページの監査委員による審査を行っていただき、4ページの審査意見書の5、審査の結果及び意見に記載のとおり、評価手続及び評価結果に係る記載は相当との判断を頂いたところでございます。

資料2-2は、評価報告書の詳細を記載した説明資料でございますので、後ほど御確認いただければと存じます。

企画総務部からの報告事項の説明は以上でございます。

よろしくお願い申し上げます。

福山委員長

以上で報告は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは質疑をどうぞ。

平山委員

私からは、県都のまちづくりについて何点か質問をさせていただきます。

事前委員会で県都のまちづくりについて議論があり、新ホール整備に関して徳島市に対する県としての責任ある対応案や県市基本協定の改定に向けた方針など、県市で議論してきた課題について説明がありました。

今回、知事と市長が会談されて、こうした課題の解決策が示され、県市連携でまちづくりを進めていく大きな方針が決まりました。

これに関して何点か質問したいので、知事戦略公室の所掌する内容について、答弁を頂きたいと思います。

質疑に入る前に、昨日の経済委員会で、知事のSNS投稿に係る新聞報道の件について、我が会派の岡田幹事長より、今後報道にあったような投稿を慎むよう強く申入れを行ったところではありますが、私も全く同感であります。

この件に関して、知事戦略公室から何かございますでしょうか。

吉岡知事戦略公室長

知事についての御質問ですが、知事の考えを御説明させていただきたいと思います。

知事といたしましては、一日でも早く新ホールを造りたいとの思いが強く、その焦りからこのような投稿になった、対立をあおる意図はなかったとはいえ、このような独善的ともいえる表現に対し、県議会の皆様、県民の皆様から、多くの御批判を頂いたことを反省し、知事として今後このような投稿は慎むとのことでございます。

平山委員

知事のお考えは分かりました。

反省されているとのことですので、知事戦略公室をはじめ、理事者におかれましては今後、心して審議に臨んでいただきたいと思います。

それでは、本題の質問に入ります。

先ほど知事戦略公室長から知事と市長の会談について報告がございましたが、会談後の報道では、市長が完全合意でないと発言されたとか、市議会でも市側から合意ではなく同意であると説明したとのことですので、改めて確認ですが、今後の取組方針に沿って県市が同じ方向に進むことで間違いはないかをお伺いします。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

平山委員より改めて確認ということで、今後の取組方針に沿って県市が同じ方向に進むということで間違いがないかという御質問を頂きました。

さきの知事・市長会談では、県から県都のまちづくりに関する今後の取組方針について説明し、市長からは、多くの市民、県民が早期完成を待ち望んでいるためと理解いただきまして、藍場浜公園西エリアにおける新ホール整備をはじめ、今後の取組方針について、知事と市長の間で合意いたしました。

その際、徳島市から基金の規模と制度設計について御質問があり、県からは、県議会と相談が必要なため具体的な基金の額は申し上げられない、また制度設計についてはこれからである旨を回答いたしました。

このため、まず御質問の市長の完全合意でないと発言につきましては、基金の規模や制度設計が明らかになっていない時点では、市として完全合意との判断ができないとの立場で発言されたものと認識をしております。

その後、9月19日の県議会代表質問におきまして、知事から基金の具体的な金額を答弁させていただきまして、遠藤市長からも、大変有り難いと評価を頂いたところでございます。

藍場浜公園西エリアでの新ホール整備に向け、大きく進展したものと認識しております。

今後は、県市ワーキンググループにおきまして、市の意見をしっかりと伺いし、基金の制度設計、また県市基本協定の改定を進めてまいりたいと考えております。

引き続き、今後の取組方針に沿って、県市協調の下で県都のまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

平山委員

今後の取組方針に沿って、県市協調で進めていくことを確認できました。

今回、基金規模がどうなるか注目されていますが、さきの県議会代表質問で我が会派の岡田理絵議員からの質問に対し、知事から決意とともに20億円程度の基金を設けたいとの答弁がありました。

20億円とは相当に大きな金額であります。金額の積上げがあるのですか。その根拠を教えてください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

20億円程度の基金について、金額の積上げがあるのか、その根拠についての御質問を頂きました。

事前委員会で報告させていただきましたとおり、さきの県市ワーキンググループでは、県から、これまで徳島市において支出している経費があること、新ホール整備を前提として土地を譲与いただいている経緯を認識し、県として責任ある対応案を検討したいという旨を回答いたしております。

この度県からお示した金額の規模につきましては、新ホール整備に係る県市基本協定に基づき県立ホールの整備促進に協力するためとして、これまで徳島市が担ってきた役割等を考慮した上で、知事が答弁させていただきましたとおり、県都のまちづくりを強力に進めるためには一定規模以上の額が必要であり、県として20億円程度が相当と考え、積上げではなく基金の規模としてお示したところでございます。

平山委員

分かりました。

これまで徳島市が出した経費と県に譲与した土地を合わせると約15億円とのことでしたが、今の答弁をお聞きすると、こうした金額の積上げではないということですので、基金は市への賠償金ではないと理解してよろしいでしょうか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

基金は市への賠償金ではないと理解していいかという御質問でございます。

知事と市長で合意いたしました今後の取組方針に記載しておりますとおり、この基金は県市協調によるまちづくりの取組を加速させる観点から、徳島市が今後実施いたしますまちづくり事業を支援するために設置するものでございまして、県市ともに未来への投資であると認識しております。

このため委員お話しのとおり、いわゆる何らかの賠償金や補填的な性格のものではなく、今後、市が行う事業に充てられるものとして設置されることを想定しております。

平山委員

賠償金ではないとこのことで理解いたしました。

そうであれば、他市町村も納得できるよう、徳島市に対して大きな額を支援しようとする理由を説明いただけたらと思います。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

徳島市に対して大きな額を支援しようとする理由について、御質問を頂きました。

現在、県都徳島市を含めた本県全体の現状を見ますと、これまで長きにわたり魅力的なまちづくりが思うように進んでおらず、官民の投資が停滞いたしました結果、先日発表された地価調査では本県全体の地価下落率が全国ワーストで、県都のまちづくりは急務であると認識しております。

県といたしまして、県都徳島市のまちづくりを進めることは、公共投資を呼び水とした民間投資を生み出し、本県最大の交通結節点であります徳島駅周辺において回遊性の高い

まちを実現し、県外からの誘客につなげ、インバウンドを含めた観光客、宿泊客をしっかりと取り込みまして県下全域へと波及させることで、県民全体の利益につながるものであると認識しております。

今後とも、県といたしまして、徳島市のまちづくりを後押しし、本県全体のにぎわい創出につなげてまいりたいと考えております。

平山委員

理解いたしました。

また、もう1点、まちづくりの観点でお伺いいたします。

閉会日に新ホールの関係予算を提出するとのことで、それに対しまして賛否があると思います。車両基地移設の玉突きで新ホールの整備場所を動かしたのであれば、調査結果が分からない中で、時期尚早ではないかという意見があるとお聞きしています。

そこで、お伺いをいたしますが、県として、新ホール整備と車両基地移設の関連性をどのように考えているのか、改めてお尋ねいたします。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

県として、新ホール整備と車両基地移設の関連性をどのように考えるかとの御質問でございます。

これまでの検討経緯を申し上げますと、県都のグランドデザインにおきまして森となるまちづくり構想全体を検討する中で、車両基地を旧文化センター跡地へ移設することと、同時に、新ホールの適地として整備場所を藍場浜公園西エリアへ変更することを一連のものとして検討に着手いたしました。

その後、藍場浜公園西エリアの調査を進めた結果、元々期待しておりましたまちづくりの観点での優位性に加えまして、現行案と比べても遜色のない機能を備えたホールが着実に整備できるという大きなメリットが確認できましたことから、現在、新ホール整備場所は藍場浜公園西エリアが最適地であると考えているに至ったところでございます。

県といたしましては、一日も早くホールを整備してほしいとの多くの県民の皆様の声に応えるためにも、県都のまちづくりの第一歩となります藍場浜公園西エリアでの新ホール整備を着実に進めてまいりたいと考えております。

平山委員

最後に、知事戦略公室長から、県都まちづくりの実現と新ホール整備の推進に向けた決意をお伺いしたいと思っております。

吉岡知事戦略公室長

決意を、ということでございます。

県都徳島市を含めた本県全体の状況を顧みますと、これまで長きにわたり魅力的なまちづくりが進まず、官民の投資が停滞している厳しい状況が続いてきたところでございます。

このため、昨年11月には、にぎわいある県都の実現を目指すグランドデザインを取りまとめ、7月には徳島市との県市ワーキンググループを再起動し、県市協調の下で、新ホー

ル整備をはじめとする県都のまちづくり構想を軌道に乗せることができたのではないかと考えております。

こうした中、知事と徳島市長が今後の取組方針に合意したことで、いよいよ県都のまちづくりの第一歩となる新ホール整備のスタートが切られると考えております。

知事戦略公室といたしましては、縣市協調のパートナーである徳島市としっかり連携し、県下全域へと波及をする県都のまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、県議会の皆様方の御指導、御鞭撻^{べんたつ}を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平山委員

新ホール整備を藍場浜公園西エリアで進めるとの知事の強い決意が十分に分かりました。

私も県外視察に参加した際、他県の取組状況や近隣県の街の整備状況がかなり進んでいると感じております。

県民の御意見は賛否両論あるとは思いますが、四半世紀に及ぶホール整備について、私の周りからは、早く新ホールを整備してほしいとの意見を多く頂いておりますので、県市でよく協議して効果的な制度設計となるように、丁寧かつスピード感を持って推進していただきたいと思います。

北島委員

今、まちづくり、またホール整備について、いろんな答弁がございましたけども、私の今の思いを一言で申し上げますと、ころころ変わって何も理解が追いつかないというのが現実であります。

昨日も、この総務委員会が終わった後、経済委員会に委員外議員で行かせていただきました。その中で、今日もありましたけれども、玉突きか、玉突きでないかという話もありました。

具体的なイエスかノーかの答えではありませんでしたけども、私は玉突きではないと理解しておりますが、玉突きでないということによろしいのでしょうか。それは、できれば、はいかいいえでお答えください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

玉突きか、玉突きでないか、イエスかノーかということでの御質問でございます。

この件につきましては経緯が重要でございます、時間経過で申し上げたいと思います。

これまでの経緯といたしまして、グランドデザイン全体を検討する中で車両基地、また同時に新ホールの変更につきまして、一連のものとして検討に着手し、その後調査を進めた結果、藍場浜公園で大きなメリットが確認できたことから、現在、藍場浜公園西エリアにおける新ホール整備が最適地であると考えに至ったところでございます。

北島委員

今の県側の御答弁でもありましたように、我々はいろんな質問に対して核心を突きたいというか、知りたいのですけども、なかなか、言葉が悪いかも分かりませんが、そこがはぐらかされているという思いがございます。

先般の一般質問の後で、我々は緊急質問をさせていただこうと思い手を挙げましたが、結果的にできませんでした。

その緊急質問の内容を、ここでさせていただこうと思います。

今ありましたように、きちんとした答弁が得られていないという点でございます。我々の会派の会長であります井川議員が代表質問で、ホール関係について質問させていただきました。

6月定例会で、例えば国からの交付税措置、また現案のほうがいいのではないかというような様々な議論がございました。

県市協定の件もそうです。その中で、特別委員会でいうと、まちづくり・魅力向上対策特別委員会が終わったのが6月27日です。閉会日が7月3日でございます。土日を含んでおり、土日を入れても29日、30日、1日、2日の4日間です。この4日間の中で、どんな議論がされたのか。閉会日には議了宣告後に、知事が改めて藍場浜公園西エリアで整備を進めていきたいという発言をされました。

6月定例会だけではなく、今まで各議員が様々な議論をしてまいりましたが、この4日間で、当然進めるべきだという賛成の意見もあり、もっと見直すべきだとの反対の意見も当然あります。

だけでもこの4日間で6月定例会の議論を、閉会日に当たってどう庁内の中で議論し、調整し、そういった結論に至ったのか。この井川議員の質問に対して、今までどおりの答弁でございました。

県都のまちづくりであるとか、魅力のあるまちづくりであるとか、そんなことは我々も十分に分かっております。それを実現させるためにどうするのかを議論しているのに、いつまでもそういった答弁だけでは何も前に進んでいかないと、私は思っております。

改めて申し上げます。この4日間で、実際、6月定例会で様々な本会議、委員会が出た議論をどういうふうに調整されたのかお答えください。

福山委員長

小休します。（10時58分）

福山委員長

再開します。（10時59分）

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

本会議後の4日間で、どのように議論して閉会日に至ったかということでございます。

県といたしましては、知事を中心に県都のまちづくりをいかに進めるかについて、日々議論をいたしております。本会議を迎えるに当たっても、種々議論をしてきたところでございます。

そのような中で、本会議での議員の御質問を受けまして、県として種々検討し、閉会日を迎え、知事としての思いを発言するに至ったところでございます。

北島委員

突然でしたので、明確な答えは頂けませんでしたけども、今回に限らず、こういった議論を庁内で本当にされているのか、非常に疑問に思います。

といいますのも、先ほど平山委員からもありましたけれども、知事のSNSです。今後、投稿を慎みますでないのです。そう思うこと自体が悪いと、私は思います。

反対の議論があつてこそ、様々な議論ができる。それが県議会の正しい姿ではないかと、私は思います。それを知事が、足を引っ張るとか、反対のための反対だと書くことは言語道断ですけども、そう思っているから書いたんでしょう。

今日は知事がおられないので確認はできませんけども、我々からしたら、今までそういった議論が本当に知事に届いているのかという思いがありましたが、今回のSNSの件でそうだったのかと、非常に失望したところであります。

また、これは県議会だけではなくて、先ほども県市協調の合意という話がありました。が、県では合意していると言っているのに、今、市議会では会期も延長して、この議論をしようとしているんじゃないですか。

そんな中で、9月閉会日にこのホールに関する予算を出すのは、余りにも早過ぎるというか、何のために出すのでしょうか。誰が得をするのでしょうか。

市議会だけではないです。昨日の徳島新聞にも、内町まちづくり協議会の臨時総会が載っておりました。そこには、以前に反対、賛成を出した両方の方々が参加されていたということで、様々な議論をされていました。

私が思うには、反対も賛成も全ての意見が全て正解だと私は思っております。

けども、アンケートを取っても、議会にしても、住民の話にしても、市議会にしても、みんな納得できてないのが一番の問題ではないでしょうか。

ホールの予算を出す前に、再度、きっちりとした説明をするべきではないでしょうか。ビジョンとか、北口開発をすればこうなる、基地を持ってきたらこうなる、全体に良くなるでしょう。県民の皆様も十分に分かっておられます。我々も、県民も、この次が知りたいのです。

まず、説明を明確にして、当然最終的には反対の方もおられるかも分からない。けども納得した反対であれば、私は進めるべきだと思います。

それもせずやるのは早いと思いますが、これからの、まず一番は徳島市です。合意とおっしゃられました。けど事実、今、様々な協議をされています。

個人的な合意であるとか、完全合意ではないと、市長はおっしゃっています。その件について、県はどう把握されているか、どのように考えられているかを教えてください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

県として、市長の発言をどのように考えているかという御質問を頂きました。

県として、徳島市長が発言をされた個人的なという発言につきましては、コメントする立場にはございません。

県といたしましては、市政を預かる徳島市長と合意したと認識しております。

北島委員

個人の意見であろうと何であろうと、市長は市長なんです。ここで、市長の話をして

仕方がないですけど。我々も議員ですけども、一個人の発言をするときも当然あります。だけど、このときは個人で言いました、このときは議員で言いました、そんな時と場合によって使い分けるようなことを私はしてはならないと思いますし、それをしないように、きっちり合意することが、まず県としてやるべきことではないでしょうか。

そんなあやふやなままで、県としてはこう考えていますので、ホールを進めていきますというのは……。ちょっと疑問ばかりで、今日いろいろと質問を考えていましたけれども、先ほどの答弁とか、昨日の動きとかで、何から整理していいか分からないという状況であります。

以前、私は6月の代表質問でも、ホールに関しても、これからまちづくりを進めていく各事業の様々な課題、問題点をもっと明確にしてくださいと。我々も考えました。

我々の考え、抽出したいろんな課題では、多分不十分だろうということで、是非とも県で、きちっと行政的な手続も考えて、一覧でも箇条書きでもいいから、そういった疑問を明確にしてください。それを一つ一つ潰していきましょう。だからそれを出してくださいと要望しました。それも全くないじゃないですか。

ただ単に、ビジョンを実現したい、まちづくりをやりたいだけで、我々も賛成していいのか、反対していいのか、なかなか判断がつかないのですよ。

是非とも、もう一度、この疑問点や課題点を出していただけるのかどうか。そこをお尋ねいたします。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

北島委員から、課題を明らかにして明文化すべき、どのように考えるかという御質問を頂きました。

新ホール整備や鉄道高架事業などのまちづくり構想を進めるに当たりましては、お話しのとおり、様々な課題があると認識しております。

具体を申し上げますと、先ほど委員からもございましたが、県市協定の扱い、また譲与した土地の扱い、また車両基地移設に係る構造や配置などの技術的な課題、検討、鉄道高架事業に係る費用対効果等の検証、それに係る課題、更なるコスト縮減、それと、先ほどございましたが、国等の交付税措置等の有利な財源の検討があると認識いたしております。

そのため、7月に開催した第2回県都魅力度アップ推進ワーキンググループにおきましても、こうした県市協定の扱い、県市協調ホールとして進めるとの方向性の徳島市との確認、これまで市の負担に対する県の対応方針の協議をしてまいりました。

また、北口開発、車両基地移設、アリーナ整備に関して、共通理解も図ってきたところでございます。

徳島市と共に、こうした課題の解決に向けて、前向きな議論を進めてきたと認識しております。

この度御報告したとおり、知事と市長の会談におきまして、課題となっておりました、まずはホールの整備場所を藍場浜公園西エリアとすること、市の負担に対する県の責任ある対応案としての今回の基金設置の提示、また、県市基本協定については所要の改定を行うという徳島市との合意をしたところでございまして、今、委員からありました課題一つ一つを着実にクリアできるよう、県市が連携して取り組んでいるところと認識しております。

す。

解決すべき課題につきましては、県市ワーキンググループの場におきましてもしっかりと明らかにし、議論を行い、その解決に向けまして、共に取り組んでまいりたいと考えております。

北島委員

今、様々な議論や課題をおっしゃっていただきましたが、県市協調のワーキンググループをやっているんで解決の方向に向かっていると。それは十分に理解できますが、そういった課題や議論をまず、100%までとは言わずとも、みんなが納得できるような形で、これは解決できたのですね、これはクリアできましたねと。それが積み重なって、予算を出していくのが順序ではないでしょうか。

玉突きの話でも、北口がスタートというのが崩れたと我々は認識しておったので、順番が違うと思っておりました。

昨日の総務委員会でも、最低賃金の話の中で、賃金アップを要請して、その後で経済対策を打つ、これはもう順番が逆だということも、この委員会の中で多くの委員からありました。

今回のホールの予算も、課題が解決していない、解決しようと動いている中で、予算を付けるのはまだまだ早い。順番としたら、逆だと私は思っております。

最終的には閉会日に諮られるのでしょうけども、県庁の中でもそういった考えがあるということを十分に議論をしていただきたいし、今、議論をしている市議会、そして地元の住民の皆様の意見をもう一度聞く機会を作るべきだと要望して、質問を終わりたいと思いますが、それについて一言コメントを頂いて終わります。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

住民の意見を聞く機会を設ける必要があるとの御意見を頂きました。

住民団体からの御要望につきましては、私も同席させていただきまして、反対、賛成、それぞれの立場で要望書の提出があったと認識をしております。

また、さきの9月24日にも同様の説明会が開催されたということで、そこでも多くの方から賛否、たくさんの意見が述べられたと考えております。

この度の賛成、反対のいずれの団体の皆様からも、総じて地域の住民としては、まちのにぎわいや活性化のために、駅周辺のまちづくりを進めてほしいという趣旨で御要望を頂いたと県としては受け止めております。

これまでの多くの皆様から寄せられた、一日でも早くホールをという声に応えるためにも、こうした御要望の趣旨をしっかりと踏まえて、関係部局で連携してまちづくりの各事業を進めてまいりたいと考えております。

北島委員

すみません、今思い出しました。この一日でも早いというのは、何でもいから進めればいいというものではないです。前回の事前委員会でそんな話が出ました。

とりあえず造ったらいいいではないと。そんなので県民の皆様の税金を使えますか。国の

交付税の措置もどうなるか分からない。あっても何十億円というものを使わないといけな
いのです。そんな大きなものを、一日でも早いというだけの理由で進めるべきではない。

当然早いほうがいいです。だけど早めるためには、しなければならないことがたくさん
ある。もう一度、そこを整理していただきたいと思います。

岡委員

何点か御質問をさせていただきたいと思います。

今までのやりとりの中でも気になったことがあるので、お答えいただきたいと思います。

まず、お二人からもお話がありましたSNSの件です。私は、ちゃんとは見てないので
すけども、先ほども答弁があったように、知事がこういうことは慎むようにしますと反省
していましたということでした。

今日、知事はいらっしゃらないのですか。どこか出て行かれているのですか。

一ノ宮知事戦略公室上席秘書幹

本日の知事の日程についてでございます。

本日、知事は在庁して公務に当たってございます。

岡委員

だったら、直接来て謝ったらどうですかと思うんですけど。反省していると言ってい
ましたと人に言わせて終わりですか。分からないけど。

今日の朝の投稿で、前向きな人たちと一緒にと、また同じ内容のことが載っていました。
それは足を引っ張る人をのけているだけですね。

多分、知事からもいろんな内容を聞いているんでしょうけども、前向きな人たちとはど
ういう人たちなのですか。

一ノ宮知事戦略公室上席秘書幹

知事のX等への投稿についての御質問でございます。

知事は、先日の代表質問において、岡田議員からの御質問の答弁として、藍場浜公園西
エリアにおける新ホール整備のスタートを切ることとし、徳島市との協調の下、県民や議
会の御理解を頂きながらしっかりと進めてまいると、その決意を表明したことについて、
一人の政治家として改めて表現をしたものと、我々も理解しているところでございます。

岡委員

多分、知事さんが知事になられてから、何度か私が発言をしていると思うんですけど、
徳島県知事なので、一政治家としてということは通用しないのです。

言い方がどうかは分からないのだけど、何の役にも就いていない一国会議員のときだっ
たら誰も相手にしないかもしれません。何の反応もなかったかもしれないけど、徳島県の
行政のトップになられているんです。僕は、その人の発言だから言っているのです。

前から、ずっといろんなところでそんな発言がありました。過激な発言もあった。私も
見ていましたけど、別にそれに関してどうこう言うこともなかったですけど、一政治家と

しての発言にしたってひどいものだし、前向きな人っていうのはどういうことなんですか。多分、答えられないでしょうけど。今までのああいうのを見たら、自分の言ったことに100%賛成して、自分の言ったことを一緒に進めようとしてくれている人という意味でしょう。

そういう話をするつもりはなかったんですけども、北島委員の質問に答えていたように、話を聞く気なんかないじゃないですか。今まで、何回同じような議論をしてきましたか。中身が分からない、ちゃんと詳細のことを答弁してくれ、答えてくれと言っても、何にも出てきてないです。

玉突きだ、玉突きじゃないという話も出ましたが、去年11月の定例記者会見の中で、御自身がルービックキューブ的に玉突きの影響が出ると言っているんです。

我々が曲解しているわけでもないし、私は覚えていますけど、当時、村上副知事が説明に来たんです。グランドデザインですと言われて、まず、そこで止めようかなと思ったんです。いやいや、11月にホールの詳細を出すと言って、議会で答弁をいただろうと。

いきなり説明が始まったのが、駅北開発なんです。確か、駅北開発をして、まちのにぎわいをつくったり、地価が下がったりしているのでみたいな話もしていたと思うんです。細かい内容までは覚えてないですけども、そのためには車両基地をのけなければならない。

多分、今の計画地の南のほうだったら、南から先行していかなければならないので、技術的な検討が必要だけれども、あそこに車両基地を移したいと思う。ここがホールの予定地だったので、様々な検討をした結果、こっちに移ってきたという説明も受けました。詳細に覚えています。この後2時間やりとりをしたんです。一個も説明がなかったですよ。ほとんど黙っていましたけど。

玉突きなんですか、玉突きじゃないのですか、もう一回お聞かせください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

玉突きか玉突きでないかという御質問でございます。

先ほど答弁させていただいたとおり、経緯を御説明したものでございます。

岡委員

それを考えたのが、経緯はそうだったと言っていたんです。そういう説明でした。

本来は、11月議会にはホールの具体的な案が出てくるはずだったんです。それがいつの間にかすり替わったんです。

次は、9月17日の徳島市の総務委員会の中で、徳島市としては、駅北開発を早くやりたいがために車両基地をあそこへ持っていきたいと。そのためにホールが移ったと思ったんだけどというのが、6月議会でそういう質問があって、その協議のときに確認したら、いや車両基地をあそこに持っていかなくても、そこでホールを整備したいと思いますと言われてた。

これはいつ変わりましたか。誰か説明を受けましたか。与党会派の人は受けているのかもしれませんが。我々は、少なくとも一回もそんな説明を受けていないです。

ここで、知事が以前、そちらにいらっしゃる小喜多記者にインタビューをされていたんですかね、知事になって1年か何かのインタビューで、確か朝令暮改は構わないみたいな

発言をされていたと記憶しています。あったと思います。

以前にも朝令暮改のことを言ったんですけども、例えば組織内の動きや仕事のやり方をこうやろうと言っていたのを、いやB案に変えるというのは内部のことなので、それは好きにしたらいいと思う。

ただ我々は内部の人間ではないですから、基本的には出てきた案に対してその説明を聞いて、それに対して質疑をするのです。

それが、勝手に初めのうったてのところが変わっているというのは、議論ができなくなると思うんですけど、その辺についてはどのようにお考えですか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

説明が変わったのではないかと御指摘かと思います。

先ほど説明した当時の検討の後に御予算を頂きまして、その後、藍場浜公園の調査を進めた結果、現行案と比べて大きなメリットが確認できたことから、現在、ホールは藍場浜公園が最適地であると考えに至ったということで、過去の発言を覆した、否定したというものではございません。

岡委員

言っていることが分からないんですけども、調査費を付けたら、良かったからここにしようかと。いや最初から、グランドデザインのときに出てきていたじゃないですか。そのときはどういうふうに思っていたのですか。

改めて予算を付けて調査したら、ここがいいではないかとなりましたと言っていますけど、あなたたちはこのグランドデザインを、徳島の将来のすばらしいまちづくりにつながると言って出してきたんです。

だったら、出したときはそうは思ってなかったということなんですか。調査の予算を付けてくれて、初めて見てみたら、ああ思ったより良かったのではないかと。では、ホールはとりあえずここへ行こうかということになったのでしょうか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

当初、ホールは藍場浜公園でと出したときの経緯や考えについて御質問を頂きました。

藍場浜公園につきましては、県都のグランドデザインを考える中で適地であると考え、藍場浜公園西エリアへと変更することを車両基地の移設と一連のものとして検討して、その後、予算を頂いて調査を進めた結果、適地であるという考えを裏付ける形で、まちづくりの観点での優位性に加えて、着実に遜色のない機能を備えたホールが整備できるといったメリットが確認できたという経緯を申し上げたものでございます。

岡委員

何回聞いても分からないんですけど、まちづくりに関する優位性とは何ですか。多分、それは答えられないんですよ。各課に聞いてくれと言われるのかもしれませんが、ずっと言ってます。

あと、県都の市が発展をしたら他の地域に利益がある。これは具体的にどういうことな

んでしょうか。教えてください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

県都が発展すれば、各地域にどのようなメリットがあるかという御質問でございます。

駅前には本県最大の交通結節点でございます。県内各施設を訪れる県外客の多くは、鉄道、高速バス、飛行機のいずれかの交通手段によりまして、本県最大の交通結節点、徳島駅及び駅前周辺を経由することになりますので、駅周辺に新たな人流が生まれると考えております。

こうした方々を、駅、更には県内全域へと波及させることで、県内全域での経済効果を、またにぎわいづくりを生み出すものと認識しております。

岡委員

中身がないっていうことがよく分かりました。

どうやってその人流を流していくのですか、どういう考えがあるんですかと聞いている。私は近くに住んでいますので、そこがにぎわってくれたらうれしいですよ。昔みたいなにぎわいを取り戻してくれたらうれしいなと思いますけど、そこから、例えば平山委員がお住まいの牟岐町、井下議員の三好市まで、どういうふうに、どうしたらそこまで利益が生まれるようなことができるのですか。僕には想像つかないですよ。

ここがにぎわったら、逆にみんなここに来るよね。ほとんどの方が、ここが一番、歓楽街で一番にぎわっているところだと。そこではお金が落ちるかもしれませんよ。そこからどうやって波及させていくんですか。副議長がいらっしゃる石井町は。どういう交通手段で、どういう人がそこへ行って、どういう具体的な利益があるとお考えなんですか。多分同じような答弁になるんでしょうけど。

今の知事が当選されてから今まで、政策議論と言っているんですけど、はっきり言って政策の中身までいかない、非常に抽象的な表現が多いんです。

だから、ちゃんと教えてください。具体的に、どういうことが考えられるのか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

にぎわいの県内の波及について、具体的にどのような手法が考えられるのかということでございます。

知事戦略公室は県庁各部局の調整を担っておりますので、関係する各部局と共に、しっかりと県全体へのにぎわいづくりについて検討してまいりたいと考えております。

岡委員

あなた方は都合が悪くなったらすぐに、各部局に聞いてくれって言うんです。あなた方は、にぎわいは利益があると言っているんです。全部そのやり方じゃないですか。あると言って、実際にどういうことがあるのかと聞いたら、検討しますなんです。具体的なものはないんでしょ。ふわっとしたビジョンで、何もないんだろう。

一番最初の記者会見で、ものすごくインパクトが残っているんですけど、徳島県のシンボルの眉山と、徳島県のアイデンティティと言ったのかな、徳島城をつないだら新しい扉

が開くと。これはどういうことなのか説明をしてほしいんですけども、誰も説明してくれないのです。

私は、家が近所なんでね。新しい扉が開くというんだったら、どこにあるんだろうと見に行きたいんですよ。こんなものはないし、抽象的なことばかり言って、一体何がしたいのだろうって。

この間、本会議で東条委員が質問されていました。20年前だったらいいと思ったけども。非常にお優しい発言だと思いました。私だったら20年前に何でこんなことをするのだろうと思います。

あそこで車両基地をして、まちづくりというか、開発を掛けたらどうなるだろうかと、20年ぐらい前に検討されているのです。そのときにいろんな議論を経て、車両基地は南のほうへ持っていくということになったんでしょ。

それは、また担当課でないと分からない部分なので立たなくていいですけど、そういうことなんですよ。

まずは、そこを勉強してくれということを、私は去年からずっと言っています。あなた方が始めた経緯からじゃなくて、もっと前から経緯があるんだと。

まちづくりが全然進まないと言ってますけど、それだって、街がどうなるかが分からないから、鉄道高架も進められなかったのでしょうか。

鉄道高架ができるかできないかで、まちづくりに大きな差が出てくることぐらいは、承知されていますよね。いつまでたっても決まっていけないではないですか。都市計画決定もできていないし。

前の知事さんのときだって、新町橋より南側から先に都市計画決定して、そっちを先行して施工します、北側は置いておきますって、揉めたじゃないですか。ちょうど渦中にいましたから覚えています。

という経緯があるんです。なぜかという、そこでやったらとんでもない金が掛かるからです。維持費も掛かるし。

金が幾らでもあるんだったら、技術的には可能です。維持費も考えずに、造る金も考えずにやるんだったら、今の技術があればできます。多分、車両基地の地中化もできると思うんです。だけど、とんでもない金が掛かるんで、費用のことも考えたらどうなるかというんで、いろんなことを考えてきているわけです。

それを今まで何もしなくてなかったのか。なぜ進まなかったのか。

だから去年の本会議でも、まずは勉強することから始めてください、議論を聞くことから始めてくださいとお願いしたんですけども、そのお願いは一切耳には入っていない。

前から分かっていたけども、今回のSNSで本心がよく分かりました。

自分の意見に反対する人は、全部抵抗勢力扱い、足を引っ張る人間扱い。耳は傾けない。ですよ。

前もそうでした。音楽4団体の方々が1,800席の今の計画で進めてくれと来た日の囲みの取材か何かで、いやホールは1,500席ですって明言していました。そもそも聞く気がないんでしょ。議会で多数派形成ができればそれでいいと思っているんでしょ。と思いますよ。

担当課に聞けって言われたって、あなたたちは知事戦略公室ですからね。そんなことま

で具体的に聞いているとは思いません。答弁をしろとは言いませんけれども、ちょっとやり方がひど過ぎると思います。

政策的な中身の議論についてやりたいのに、そこまでいけないのが現実です。何を言っているのか分からない。具体的に言えといったら、次から関係部局が検討すると言う。それがなかったら、何の根拠にもならないでしょう。何でここから他の地域に利益が波及していくのか。

もっと言うと、県都のまちづくり推進基金です。他地域の方々は、なぜ徳島市だけこんなことをするんだって、怒らなければならないと思います。補償ではありませんと言うんだったら、やらないといけない分は補償しなければならないのではありませんか。どういう認識を持たれて、まあ協定は改定すると言っていますけども、一方的に方針を変更したのは県のほうです。知事の発言からです。何を都合のいいことを言っているのか、どういう認識なんだろうと思います。一般社会だったら、間違いなくもうとっくに信頼関係が崩れています。

先ほどの木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監の答弁で、非常に気になっていたところがあります。徳島市が合意したみたいな発言をしたんです。市長というのを間違えたのかもしれないけれど。この合意について、もう一回聞きますけど、後藤田正純という徳島県知事、一個人の政治家と、遠藤彰良さんという一個人の一政治家が方針について同意したのか。向こうは合意とは言っていない。同意に変わってます。同意って変えてください。市としては何も決まったことはありませんって言っているんです。

あなた方は、その二人が合意や同意をしたから、とにかく県と市が組織的に動いていきますということをおっしゃっているのか、どういう認識でいらっしゃるのかを、もう一回、分かりやすく教えてください。はっきり言ってくれないとよく分からないので。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

知事と市長の合意についての御質問でございます。

今回の合意につきましては、県政を預かる徳島県知事と、市政を預かる徳島市長が合意したものと認識しております。

岡委員

預かる人が合意したというんですね。

県と市が組織的にも合意をして、そっちの方向へ進んでいくという認識を持っているのかを聞いているんです。県庁組織と市役所の組織が合意をした上で、この4項目の今後の取組方針を組織的に動かしていくということですか。そこをはっきり教えてください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

今後の取組方針について、組織として合意したものと認識しております。

岡委員

それは大問題発言です。市議会の総務委員会でそうではないって言っていますから。その説明のために、市長を呼んで説明させろということになっているんです。

あなたたちも議事録を持っているんでしょうけど、どういうふうに見たら、県と市が組織的に合意したのか。誰が見たってそんなことは書いてません。市として何も決まったことはございませんとはっきり明言しています。

木野内統括監個人の考えではないとは思いますが、県庁の組織としてそういうことを思っているのだったら、大問題です。

あなたの発言によって、徳島市は間違いなく混乱しますよ。市はしていないと言っているのに、組織的に合意したと言いましたから。そこをもう一回、はっきりと答えておいてください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

知事と市長の会談におきまして、議事の内容でございます。

今後の取組方針について……

（「議事の内容なんて聞いていませんから、さっき言ったことが本当なのかどうなのかをはっきり答えてくれって言っている」と言う者あり）

知事と市長が了解をし、合意をしたとして、この方向で進めていくということで、お二人で……

（「組織的にかどうかって聞いている」と言う者あり）

徳島県と……

（「県庁と徳島市役所が、組織的に合意をしたんですね。そうやって今言ったでしょう」と言う者あり）

市政を預かる徳島市長と県政を預かる徳島県知事が合意をしたということで申し上げます。

岡委員

話が変わっている。さっき組織的に合意したって言いましたよね。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

個人という御質問でございましたので、市政を預かる徳島市長個人、県政を預かる徳島県知事個人ではなく、県政を預かる徳島県知事と市政を預かる徳島市長として合意したと認識をしております。

岡委員

認識が違うんですよ、これ。

今の発言は大変な発言です。その前に組織的って言いましたから。県庁と市役所とが合意したのですかと聞いたら、はいと言いましたから。そのことを確認しておきます。

多分、今日の総務委員会の情報が向こうに流れていったら大変なことになると思います。市と県が、言っていることが違うではないかとなりますから。

前の、徳島市が進めているホールのときに、同じようなことがあったんです。ごちゃごちゃなってね。その火種を今回あなたが作ったということになります。これは大変な問題です。

認識違いで、どういう説明をほかの方々にされたかは知りませんが、代表質問においても、合意したから早く進めろと。してないじゃないですか。このホールの名称ってなんでしたか。もう一度答えてもらえますか、このホールの名称。

もういいです。縣市協調新ホールなんです。縣市協調新ホール。市は組織としても何も決定していないと、9月17日に言っているんです。この間に変わったんですか。私はそんな話は一切聞いてないです。閉会日を延ばして聞き取りまでしなければならいとなっているんです。

知事と市長が合意したら何でも進められると言うんだったら、議会でこんな議論したって、何の意味もないということです。それが議会軽視だって言っているんです。

知事と市長が話をして、さあやろうと言ったら全部予算が付いて、何もかも事業が進んでいくんですか。議会にも説明してって、まともな説明は一回も聞いてない。担当課に聞いてくれなんだろうけど。SNSのことにしたってそう。この間の議会のときにSNSの機能を制限したらどうですかって言ったでしょう。早くもこんなことが起きているじゃないですか。

ホールのことにしたって、ワーキンググループでしたっけ、2回でしょう。何の話をしたんですか。僕は去年から、もっと密に話をしろと、ホールのことについても、土地の問題とかいろいろあるから、一旦白紙にして、そこからワーキンググループで話をしたらいいのではないかと、そのことはずっと申し上げてきました。まずは、きれいに整理を付けよう。

今、現計画はあるんですよ。どれだけ失礼なことをしているかは分かっていますか。県と、行政の自治体と協定を巻いて仕事するとなっていたのを、1年も2年も放置されて、それで新しいところにします、適切にその人たちと話をしますって。まずこのことの整理がつかなければ、次になんかいけないでしょう。

業者はみんな見えています。こんなところと仕事できるかと思っていますよ。信用できないもの。トップの方針が変わったらまた変わるんだろう、やっぱりやめたと。

言うことはころころ変わる、政策の中身の説明を求めても、政策の中身はこれから検討します。打ち上げるだけ打ち上げて、これが最高ですって。何が最高かという答えもできないようなのが、何で最高だと言えるのかよく分からない。

少し前の議論で、鉄道高架のやつが出てくるまで、そういうものを進めるべきではないかとおっしゃっていました。これを言い出したのは最大会派の方々です。なぜか、合意したんだったら進めたらいいと。1年の間に何が変わったのですか。まだ1年もたっていないんですよ。鉄道高架が出てくるまで議論しないと、確かおっしゃっていました。ホールのことを話しているのに、えっと思いました。

そういう意見もあるではないんです。それを、その人たちが言ったらいけないでしょう。と思いますよ。だから時系列できちっと物事を見て進めていかないといけないし、組織的に合意ができましたと、あなたはおっしゃいましたからね。

それだって、きちんと本当に合意ができたのか。だったら協定書でも何でも巻いたらいいでしょう。

それもしないで、3人か何人かが寄って、1時間2時間3時間話をしたかどうか知りませんが。これは、ほとんど県の職員ではないですか。出向で行っていたとか、元県職員

です。合意ができましたと。

こんなやり方をしていたら、何をするにしても、全部崩壊していくんです。

こんな言い方をしている僕が言うのもあれですけど、人と話をするときというのは、信頼関係が一番大事だと僕は思っています。

言ったことは嘘^{うそ}をつかない。約束したことはきちっと守る。これは当たり前のことです。政治家とか自治体とか以前の問題。勝手な解釈で、社会人として普通の当たり前のことができていないんです。

もっと言うとホールの位置。こっちに変える、玉突き的にここに行くからこうなったんでしょと聞いたときに、その理由として、いや違う、車両基地は行かずにそこへ行くと。そのときに、その担当者が誰か知りませんが、整備スケジュールに満たないという理由を挙げていたんです。

整備スケジュールというのは、多分、知事がおっしゃった、自分の任期中に着工することなんでしょう。言葉が悪いのは承知で言いますが、そんなこと知ったことかなんです。

自分で勝手にこの時期に着工しますと言って、それに合わないから場所を変えますって、そんな話がありますかと思えますけど。自分が勝手に言ったんでしょ。

誰か我々が、自分の任期中に着工しろと言いましたか。誰もそんなこと言っていないです。

何か、遺構が出てくる、埋蔵文化財が出てきたら遅れる。揉めたら、それどころの遅れで済みません。進まないようになる。あなたたちはそれでも強引に進めていくんですか。

これがすばらしいと十分に説明もできないくせに、これがすばらしいと言い切って多数派工作をして、数だけで予算を通して進めていくつもりがあるのかどうなのか、お答えください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

新ホールの進め方につきましては、担当しております観光スポーツ文化部において、所管の委員会で御説明するものと考えております。

岡委員

こんなんですよ。

あなたたちは、統括しているのでしょうか。6月のときにも言いましたが、だったらあなたたちの仕事は日程調整と議事録の作成だけなんですか。

吉岡知事戦略公室長はこの会議に行っていたんでしょ。何かお考えがあるはずと思うんですけど、お答えください。

吉岡知事戦略公室長

当日の知事と市長との会談時に私も同席しておりました。

その中で、木野内統括監から申し上げましたとおり、県都のまちづくりに関する今後の取組方針について、知事と市長が合意をしたと理解しております。

岡委員

県の側は、出ている人がこんな認識なんでね。大変な認識違いだと思います。違うって言っているのだから、言い切るということは、あなたたちは揉めさせたいのですか。

どうせ揉めたら足を引っ張られたと言うのでしょうか。徳島市に足を引っ張られたって。常套手段です、今まで。僕は悪くない、あいつが悪い、こいつが悪い。そんなことばかりしているじゃないですか。

まともな話し合いもできないんだったら、はっきり申し上げて止めたほうがまし。

ホールのことに関しても、徳島市に造る根拠は協定があることだと言っていました。ということは、協定がもしこのまま改定ができずに破棄となったら、県として、ホールは必要ないという考え方なんです。

協定があるから徳島市に1,500席プラス以上のホールを造ると言っているけど、協定さえなければ別に県立ホールは必要ないという認識なんじゃないでしょうか。担当課から聞いてないですか。分かる範囲で教えてください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

さきの知事と市長の合意では協定を変更し、ホールは藍場浜公園西エリアにするということで合意いたしましたので、そのように進めていくように検討して考えております。

岡委員

聞いたことに答えられないんだったら、担当課に聞いてくださいと言ったらいいんだけど、聞いていますか。そんなことは聞いていません。

協定がなくなったら必要ないと思っていると、私にはそう聞こえるのですが、お答えください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

徳島市とは協定を変更するということで合意いたしております。必要であるというふうに考えております。

岡委員

ホールは必要なのですね。ホールが必要という認識だったら、協定がなくても県立ホールで造ればいじゃないですか。そうしたらスムーズに進むんです。

県市協調の新ホールなんて、訳の分からないことを言うからこんなことになるのです。それもずっと前から言っています。協定の見直しじゃなくて破棄にして、1回更地にして一緒に考えていったらいいんじゃないですか。

それもせずに、今になって協定を改定します、県が徳島市に新ホールを造るのは協定ですって、これは脅しじゃないですか。金を出すのはこっちだみたいな。協定改定しないんだったらホールを造らないと言っているように聞こえるんです。

多分、そういうことなんだろうと思います。そうにしか取れない。そんなやり方で、まともな県市協調ができると思うかどうか、お答えください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

県市基本協定の改定についての御質問でございます。

さきのワーキンググループでも申し上げたとおり、県が主体的にホール整備に取り組む根拠が基本協定でございまして、協定が破棄となり県市協調が維持できなければ、県がホール整備を行う根拠を失いかねないため、県から枠組みを維持したいと申し入れ、市でその旨を理解いただいて、この度の合意に至ったと考えております。

岡委員

僕の解釈ですけど、どう聞いても協定があるからホールをしているんですというように聞こえます。枠組みがある、それは協定が前提でなくなりかねない。なくなりかねなろうが何だろうが、県としてホールは必要と思うのであれば建てたらいいと思います。

余り時間がないので、議論が尽くされているわけではないが、はっきり申し上げておきますけれども、嫌々するのであれば止めたほうがいいです。そのことだけ申し上げて終わります。

東条委員

私は、代表質問をさせていただいて、ひょっとしたら足を引っ張っているほうなのかなと思ったのですが、私の考えとしては、県民の中で半々で、現地の場所がいい、それと藍場浜がいいという状況を見たときに、半々で拮抗（きつ）しているのですね。こっちがいい、こっちがいいと。みんなが共通していることは、一日も早くしてほしいが8割ぐらいということで、どっちがいいかという状況の中では、場所は県民もみんな分かれていると思うんです。

私が代表質問で言った思いも、みんなではないですけども、半分、何人かは思っている方もいらっしゃる。

そんな中で、知事がなぜ移転したのかははっきり説明してくれて、それでいろんな問題点をちゃんと答えてくれて、県民が納得すれば、藍場浜公園のほうでいいのではないかと、きちんと理解を得られることもあります。

徳島市との協定がありました。徳島市と協調してグランドデザインでやっていくのであれば、主役は徳島市なので、県は徳島市の意見をしっかり聞かないといけいないのに、それに何か上乘せしていったような形で、今の市長を孤立させるような状況になってしまっているというのは、すごく問題がある。

これまでの協定どおり現地に建てて、あと北口開発や鉄道高架は、本当に必要ならば、じっくりもっと時間を掛けてやっていくほうが、ずっとみんなの理解が得られるのではないかと私は思ったんです。だから、知事が藍場浜公園にするという考え方に、絶対反対しているわけではないです。

私の支持者の中にも、いいものはいいですけども、どちらに建てていただいてもいい、早くしてほしいという思いがすごく伝わってくる。それが支持者の方の意見です。県民の方の意見です。ですから、それに対してきちんと応えてもらいたい。

そして、やるからには一生懸命やるという意気込みを知事から聞くことによって、私たちも賛成できるかなと思ったんです。いろいろ話を聞いている中で、全体のまちづくり、

新時代グランドデザインということなんですが、このことについてお聞きしたいと思います。

さっきも幻みたいな感じでないかと言われたんですが、まず北口開発、鉄道高架、車両基地の移転、それから川の駅、新町川とか川の駅みたいなのを造る。それから新しい文化ホール、アリーナということで、全体のまちづくりをやっていくと言われていました。

それぞれどのぐらいのお金を、ホールにはこれぐらい、それから北口開発、鉄道高架は800億円と金額が出ました。そういう一つ一つの金額はどのくらいを予定しているのか。そして、このまちづくりのグランドデザイン全体では、徳島県はこれぐらいの予算が掛かるというトータル、そういう全体からそれぞれのものを計画していくというのは分かるんですけど、ふわっと打ち出されたものでは本当に地に足が付いてないと思うんです。そういう予算はどう予定されているのか教えていただきたいです。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

東条委員より、グランドデザインの実現に向けて、全体でどの程度の予算を考えているのかという御質問を頂きました。

昨年11月に公表しました県都のグランドデザインにつきましては、先ほど委員がおっしゃられたように、アリーナ整備、中央卸売市場、万代地区にぎわい創出、それとさきにありました車両基地、新ホール整備を含む様々な事業を列挙し、そのイメージをお示しさせていただきます。

こうした事業の中で、現時点で具体的な事業費をお示ししているのが、今回の新ホール整備のみでございまして、車両基地につきましては現在、移設した場合の鉄道高架全体に必要な事業費は調査中でございます。

また、アリーナなどその他の事業につきましては、現時点では必要な予算額をお示しすることはできません。

各事業は、それぞれ主体や事業の進捗も異なっており、また事業それぞれに様々な合意形成も必要でありますことから、諸条件が整って初めて必要な事業費の算出に取り掛かれるものと考えております。

御指摘は、構想全体の事業費でございしますが、一日も早くという多くの県民の声に応えるためにも、まずは県都のまちづくりの第一歩といたしまして、新ホール整備に向けた検討を進め、更に、今後調査を進めております車両基地、鉄道高架事業など、一つ一つ各事業の進捗に向けて、各部局連携して必要な調査、説明、協議を進めてまいりたいと考えております。

東条委員

ですから、まだ調査中というか、全体の金額や個々の金額は分かっていないけれども、このグランドデザインをみんなで進めていくと考えておられるということですね。

（「はい」と言う者あり）

そうしたら、私も20年前だったら良かったなって、さっき甘いって言われたんですけど……

（「甘いではなく優しい」と言う者あり）

そのとき私は市議会議員をさせていただいておりまして、ちょうど鉄道高架の問題が出てきていました。だけど二軒屋町の住民のいろんな反対などがありまして、できなかった。

ですが、あのときでも500億円は掛かると言っていたのが今は800億円。物価高騰しているので、もう800億円では済まないのではないかと。1,000億円ぐらい掛かってくるのではないかと。そのお金を掛けて、本当に鉄道高架は必要なんだろうか。私は、そこまでお金を掛けるんだったら、もっと違うものに掛けるべきではないのかと思います。

これは私の意見ですから、他の人もいろんな意見があると思うんです。でもそれも聞かないといけないと思うんです。ありきではないと思うんです。北口開発は何のために必要なんだ、鉄道高架は何のためにこうするのだと、それぞれ一つ一つのものをみんなにきちり説明してもらって、だから必要なんだという理解がないのに、グランドデザインでこれありきみたいな感じで今、進められている。

今、徳島市とのボタンの掛け違いみたいなのが浮上している中で、本当にこれで進んでいくんだらうかというのはすごく心配です。

それと質問のときに言ったんですけど、徳島駅前に寄る魅力はないと私は言ったんです。以前はデパート、そごうがありました。文化ホールに行って、文化ホールから帰りにわざわざ駅前に寄るかといったら寄りません。寄る人もおるかも知れません。でもあとアリーナがもし体育館の向こうにできたとしても、運動したりスポーツを観たりして、わざわざまた駅に立ち寄るかという、余程の魅力がないとなかなか寄らないと思うんです。

そのことも並行してグランドデザインで考えていかれるのであれば、駅前の活性化に向けて、どういうふうに進めていくかということも考えられているのか。こんな構想で駅前をにぎやかにしていこうと考えていることはあるのでしょうか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

駅前の活性化に向けて考えていることはあるのかということで御質問を頂きました。

駅前につきましては、徳島駅を中心として人が行き交う回遊性の高い街の実現が必要と考えており、藍場浜公園での新ホール整備や車両基地の移設、駅の北側開発を盛り込んだ形で今回グランドデザインをお示しさせていただいております。それを一つずつ、着実に推進したいと考えておるところでございます。

その中で新ホールを駅に近い藍場浜公園西エリアで整備することにより、まちづくりの観点からは非常に大きなメリットがあると考えております。

先日の徳島市長の市議会での御発言でも、藍場浜公園における新ホール整備や徳島駅から阿波おどり会館、眉山を結ぶシンボルゾーン周辺において、徳島市が進めている新町西地区再開発事業や川の駅の整備、LEDによる景観整備などの各事業と相まって、にぎわい創出や回遊性向上などまちづくりへのメリットが期待できるという御発言も頂いたところでございます。

一方で、先ほどの御指摘のように、新ホールにより期待される人流を駅方面へ向けまして、駅を中心とした中心市街地の活性化、にぎわい創出を実現するためには、徳島市としっかりと連携いたしまして、歩いて回れるウォーカブルなまちづくりに向け、ワーキンググループでしっかり議論をということでございますが、そうした実現に向けてワーキンググループでの、ハードだけではなくてソフト両面からの取組、議論が欠かせないと考え

ております。

まちづくりの観点から、徳島市としっかりと議論をしてまいりたいと考えております。

東条委員

徳島駅周辺に魅力がないと寄らないと思うんです。

どういうふうな魅力を作っていくかは、審議会と何かをしながら、若い人から高齢者まで、誰をとっているのではないですけど、ある程度専門的なまちづくりに関わっているような方とかの意見を集約していくとか。私が思ったのは、ポッポ街のあそこってすごい寂れてしまっているんです。あそこのポッポ街を一掃していくというか。

（「それはやばい」と言う者あり）

800億円も掛けるのであったら、これは私の思いですけど、あそこに県営住宅を建てて、年金生活65歳以上の人に住んでもらって、それでその方々が県のいろんなお手伝いをする。お元気な方に住んでもらうんです。年金をもらっている方とか、そういうふうに人が居ないと街は活性化しないと思うんです。

夜になったら、駅前是真的暗ですし、しんとしているんです。前はもっとにぎわいがあったと思うんですけど、コロナ後は本当に人が早く帰りますし、駅前をうろうろするような状況ではないかなと思うんです。

ですから、どんなことをすれば人に駅前に寄ってきていただけるのか、人が寄ってきたらいろんなお店もできたり、いろんなものができると思うんです。そういうことも是非考えていただきたいんですけど、考えておられますか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

今、たくさんのお意見を頂きました。

まず、徳島駅前周辺中心市街地のまちづくりにつきましては、まずは、まちづくり計画、また都市計画を所管しております徳島市が中心となってするものと考えております。

これは、徳島市が一人ですればいいという趣旨で申し上げたのではなく、市の駅前のまちづくり計画につきましては、主体となるのは徳島市と考えております。

その上で、県市ワーキンググループにおいて、今回お示ししておりますグランドデザインの実現に向けて、しっかりと県市が連携して進めていく必要があると考えておりますので、頂きました意見はワーキンググループの中でしっかりと議論してまいりたいと考えております。

東条委員

それと私は駐車場だと思うんです。駅前もそうですけれども、今度、藍場浜公園にホールを建てるとしたら、あわぎんホール下の駐車場がなくなります。そうしたら、あわぎんホールを使う人は、どこの駐車場にとめたらいいのかというのがあります。この前聞いたところによると、1,500台ぐらいありますと聞いたんですけども、どうなんだろうと。

公的な施設には公的な駐車場をきちんと構えるべきだし、そうすることで次のホールにつなげていけると思うんです。駐車場はネックだと思うんです。駅前もそうです。

そごうが駄目になってしまったのは、駐車場が大きなネックでなかったかなと、私は思

うんです。というのも、今の高松市は駅前にすごく来ているって聞いているんですけど、駅前の駐車場を2時間は無料にして、行きやすいと聞きました。

駐車場だけではないと思いますけど、駐車場は大きな鍵を握っていると思うんですけど、そのことに関してはどのようにお考えでしょうか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

ホール駅前に関する駐車場についての御質問かと思います。

観光スポーツ文化部においてしっかりと検討させていただきたいと考えております。

東条委員

私、駅前開発で失敗した県を見てみたんです。そうしたら、青森県、山梨県、福島県というのは開発に失敗してしまっているのです。なぜかと言うと、計画の甘さと行政が主導でやってきたということがすごい問題になっていたようです。

どういう状況かといったら、地域の自然を生かして、民間の皆さんの力を借りていくということが大事ななと思うんですけども、その点については、どう考えられていますか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

まちづくり計画に民間の皆様の力を頂いてということで御意見を頂きました。

県市ワーキンググループの下で、各まちづくりの好事例の研究につきましては、所管しております県土整備部を中心に進めておりますので、そうした民間の皆様のお取組、好事例を生かしてまいりたいと考えております。

この知事戦略公室では、具体を申し上げることはできません。

東条委員

全体の新時代グランドデザインを考えていращやるのであれば、それぞれの部局ともいろんな連携を図りながら、本気でやるのであれば、皆さんが一つになって考えていかなかったら、絶対このグランドデザインって宙に浮いてしまう感じがするのです。

私個人的には、とにかくホールができたらいいいというか、引いてしまっている部分があるので、もっと真剣に、みんながまちづくりをどう考えていくか、つながらないと無理かなと思います。是非つながっていただいて、本気でやるのであれば、それは行政が動かないと今は無理だと思いますので、よろしくお願いして終わります。

福山委員長

午食のため休憩いたします。（12時05分）

福山委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。（13時06分）

それでは質疑をどうぞ。

東条委員

先ほど、私が発言したポッポ街の一掃ですけれども、ポッポ街を一新ということに訂正をしていただきたいと思います。よろしくお願いします。

岡田（晋）委員

それでは、皆さんがホールのことについていろいろ議論されてますので、私も去年から思ってきたことを議論の中で皆さんにお伝えし、いろいろ答弁も頂きたいと思います。

現ホールの計画ですが、その計画は、どうやって生まれて、どれだけのスケジュールでどうなったか。私は、当時一県民でした。それも、徳島市内に住む者ではなくて、私は吉野川市です。まず、何で徳島市の文化センターを県が建築するのかと疑問に思いました。それは何で思ったかという、市は市、県は県、それぞれ自治体です。自治体の責においてやっていることは、そこがやっていったらいいものを、なぜ県がやっていくのかを一番に疑問に思いました。

ところが、新聞報道によりますと、それは恐らく前市長が前知事に頼んで、そして合意してやっていくことになった。そのときに県議会におられた議員の方々は、当然それに同意して進めていかれたことと思うんです。私は、一からそう思っておりました。それでも、県庁所在地の徳島市にできるのであれば、地方の者としても、やはり利益があるなと思いました。それぞれに思うんだったら、それぞれの市町にも、県が造ってくれたり、スケールメリットでできるということは、望ましいなと思っておりました。

ところが、さらに、それにまちづくりデザインということが取り出されて出てきました。それはすばらしいなと思います。私も現職時代に都市計画に携わっておったりして、やはり都市計画決定をして、いろいろきっちり揺らぎがないものの計画を立てていくことが大事なので、このまちづくりデザインは当然、徳島東部都市計画区域の中で、やはり位置付けをきっちりするべきだと思う。ここで話しても、あの担当のところという答弁になるんで、まちづくりデザインについて、この知事戦略公室が担当だということでお尋ねします。

そのデザインの中で示された、いろんな公共施設的なもの、事業についてどういう順番で、今の案として計画されているのか。まず、それをお尋ねしたいと思います。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

グランドデザインの中で、それぞれの施設がどのように計画されたのかという御質問を頂いたかと思います。

先ほど答弁させていただいた部分とも重複しますが、車両基地を旧徳島市文化センター跡地へ移設をすることと同時に、新ホールの適地となります藍場浜公園西エリアへと変更することを、県都のグランドデザイン、森となるこの全体構想を検討する中で、一連のものとして検討に着手したところであります。

その後の、最適地と考えられるに至った経緯は、先ほど答弁したとおりでございます。

岡田（晋）委員

私は、その後のことを聞いたんです。

グランドデザインのそれぞれの施設を整備する順番について、今の時点でどう考えられているか。車両基地、ホール、アリーナ、鉄道高架だとか、それぞれに順番は、どう考え

られているかお尋ねします。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

失礼いたしました。その後の整備の順について御質問を頂きました。

県都のグランドデザインの中では、先ほど説明しました車両基地の移設、新ホール整備場所の見直し、そのほか、アリーナ整備、また先ほどと重複しますが、中央卸売市場や万代地区のにぎわい創出など、さまざまな事業を列挙しておるところでございます。

現時点では、この事業費の必要となる予算、それぞれ実施主体や事業の進捗も異なっており、事業それぞれに様々な合意形成も必要であると考えておりますので、具体的なグランドデザイン全体としての整備の順序というのは、今、お示しするような状況にございません。

岡田（晋）委員

順番は全部言えないんだったら、1番だけ言ってください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

まずは、県都のまちづくりの第一歩として、新ホール整備を進めてまいりたいと考えております。

岡田（晋）委員

1番はホールということで、そのホールに関してはやはり協定書とかがある。それについても組織としての合意がなされて、協定書がなされている。協定書を結局締結したところの名前はようになってますか。徳島県知事とかいろいろありますよね。誰と誰が結んだんですか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

協定書は、当時の知事と市長でございます。

岡田（晋）委員

そうだと思います。行政の長。長と長で協定書を巻いて、それに基づいて合意をする。そして、それはどこが主体に巻かれたんですか。行政が主体性を持ってやったことだと思うんですけど、どうですか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

事務の主体といたしましては、現在の観光スポーツ文化部でございます。

岡田（晋）委員

部署を聞いてるんじゃない。行政の主体性の下に、その首長が合意を得て、協定書を巻いたりして進めている。それに関して、知事が変わりました。知事が変わった段階において、それが進められている。ただ場所が、今、変更になろうかという議論がされている中

で、行政の継続性としては、本当は白紙にして、市は市でやってください、県は県でやりますというのが、私の意思としてはあるんですが、もう協定を巻いてやっていく以上においては継続性があると思うんですけども、中には継続性がないということをおっしゃる方もおられました。私は継続性を持ってやっておられると思うんですが、どうですか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

継続性の話でございます。委員御指摘のとおり、行政の継続性がございますので、県市協定につきましては継続されているものと認識しております。

岡田（晋）委員

そうしたら、私も議員になる前にテレビで見たんですけど、市がいろいろまちづくりを考えており、そのときのテレビで今残っているビデオを見たら、前市長が委員となって発言されていた中に、やはり、この間一般質問で扶川議員が見せられたようなゾーン付け。徳島駅から眉山に向かって、にぎわい創出、その中における位置として、今度整備しようという藍場浜公園西エリアが、ちゃんと文化ゾーンとして位置付けがあるのは、あわぎんホールがあるためだと思うんです。

そこに更にプラスされて、文化ゾーンが広がるという考えでよろしいんですか。市が決定していることに、県が補足というか、同じような意図で文化ゾーンとしてやっていく中で、位置がそっちに移動することも考えられているんですか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

県のグランドデザインで考える都市、まちづくりのイメージと、徳島市が所管しております駅周辺まちづくり計画は、先ほど委員がおっしゃった部分かと思いますが、まちづくり計画と中心市街地の活性化基本計画について、現在の共通点や方向性について、さきの県市ワーキンググループにおいて確認させていただいたところでございます。

この中で、市につきましては、県からいろいろまちづくりグランドデザインの構想をお示しさせていただいたところでございますので、こうした市の計画、構想につきましては、市において、今後、改定がなされていくものと認識しております。

中身については、県市ワーキンググループの中で、県としてもしっかりと議論してまいりたいと考えております。

岡田（晋）委員

整備の順番の 1、2、3 が、1 は決まってるけど、2、3 が決まってないという中で、ちょっと要望しておきたいと思います。

佐古駅を少し越えたところまで高架があります。私たちが J R 徳島線に乗ってくるとき、徳島駅に来る手前で下ります。これがずっと続いていけば便利だし、花畑踏切の混雑の解消につながるので、私は、やはり 2 番目に鉄道高架を進めていってほしいということは要望しておきます。

それと、最終日に補正予算でいろいろ議論されるということですが、その委員会でされる内容を、その委員でなくても、まちづくり・魅力向上対策特別委員会とか、経済委員会

とか、いろんな形でされる中において、私たちも本当はいろんなことを知りたいんです。

ですから、委員会に付託してそれで終わるのではなくて、こんな重要な、この総務委員会でみんなが質疑をする、そういうことに関して、やはり丁寧な説明がなかったがために皆さんも異論を唱えている部分がいっぱいあるので、それについてはいかがでしょうか。

最終日に補正予算を提出するまでに、ある程度納得のいくような説明をしていただかないといけないと思うんですけど。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

予定しております補正予算に関する説明の場をということで御質問を頂きました。

まず予算の説明の場としては、委員御指摘のように、所管の委員会で、観光スポーツ文化部におきまして御説明があるものと考えております。

なお、今、御指摘のありました件につきましては、担当部局にお伝えしたいと思います。

岡田（晋）委員

分かりました。

それは、是非ともしっかりと部局に伝えていただいて、説明会ができなくても個々に回ってきて、資料とかできっちり説明しているような内容でも、必ずお願いします。

それでは、用意していた質問をさせていただきます。

知事戦略公室にお聞きします。6月の本委員会の前に、県のホームページにおける、県庁組織として新設された知事戦略公室の位置付けと役割、そして業務内容については、いの一番に公開しておかないといけない情報だと思い、改善を求めました。早速、その日のうちに、知事戦略公室についてのホームページにおける内容を修正していただきました。良かったと思います。

知事戦略公室は、知事の指令塔なので、全庁的に目を配る必要があると思います。指摘された内容が全庁的にどうなっているか、点検、そして、改善の指示はされましたか。私がせっかくお教えして、直ったのは知事戦略公室の業務だけでした。

機構改革で新設された他の課については、どう把握されていますか。

中原知事戦略公室秘書幹

岡田委員から、県のホームページに掲載の、県庁組織の業務内容についての御質問を頂きました。

県のホームページにつきましては、県民の皆様に、県政に関する情報を正しく分かりやすくスピーディーにお伝えすることが重要であると考えております。

先般、委員から御意見を頂き、知事戦略公室の業務内容につきましても丁寧で分かりやすい内容へと改良するとともに、機構改革で新設されました他の部署も含め、全庁的な記載状況についても確認したところでございます。

今後とも、県民の皆さま方の御意見をよくお聞きしながら、誰もが利用しやすく、分かりやすい内容となるよう取り組んでまいります。

岡田（晋）委員

その説明の中では言われてなかったんですけど、私が発見して、指摘して、そこはすぐ直してくれたんですね。全庁的に目配りをする司令塔ですから、それは、今後ともやってください。

新着情報で一つ気になったことがあります。週間スケジュールについてですが、9月13日に、9月第5週、23日から29日の間の知事のスケジュールが公開されています。週間としては理解できますが、もう少し先の知事のスケジュールも知りたいと思いますので、出席や面会予定の月間スケジュールを掲載してはどうでしょうか。

中原知事戦略公室秘書幹

知事の月間スケジュールについての御質問でございます。

知事戦略公室では、県政の透明度アップを図るため、毎週末、翌週の知事の週間スケジュールを公表しているところでございます。知事行事、面会につきましては、相手方の御都合もお聞きしながら、調整を行っているところでございまして、その確定が見込まれる週間スケジュールについて、引き続き公表を行ってまいりたいと考えております。

岡田（晋）委員

是非検討して、実施していただきたいと思います。

次に、活動記録についてです。これは、知事の1日の動きを知る上でよく見られていると思います。その活動記録の中で、写真があってとてもよく分かる、写真で見る知事の動きとして取り上げている記事の内容がまちまちなので気になりました。

写真で見る知事の動きは、誰が掲載の判断をしておられるのでしょうか。掲載についての基準があれば、お聞かせください。

中原知事戦略公室秘書幹

知事の活動記録についての御質問でございます。

広報活動につきましては、先ほども申し上げましたとおり、県政に関する情報を、正しく分かりやすくスピーディーにお伝えすることが重要であると考えております。

知事行事、面会等につきましては、開かれた県政を推進し、透明度アップを図るため、知事戦略公室において、速やかに県公式XやFacebook等のSNSに、可能な限り写真とともに掲載することとしており、委員お話しの県ホームページの、写真で見る知事の動きでも同様の掲載を行っております。

その内容につきましては、県民の皆様方をはじめ、県内外の企業、団体、スポーツクラブ等の活動や取組、県との連携事業などを紹介しているところであり、今後とも、様々な広報媒体を活用し、効果的な情報発信に取り組んでまいります。

岡田（晋）委員

面会については、訪ねた方が載っているかなと見るのを楽しみにしています。ホームページでは、時系列に記録されたほうが検索が簡単で見やすいと思いますので、知事の全ての日々の活動記録を掲載していただくことを要望して、この質疑を終わります。

次に、人事課です。

6月の本委員会での働き方改革に関する要望で、1時間のお昼の休憩時間をフレックス勤務と同様に、30分単位で前後に変更できるお昼休み時間の選択試行を早速実施していただき、食堂の混雑が解消され、ゆっくりと食事が取れるようになって良かったと思いますが、昨日も今日も行ったんですけど、大混雑でした。

ということは、周知が足りないということで、ここにお集まりの管理職の皆さん方、できるだけ課員の方々に周知をお願いします。やはり混雑しなくて、ゆっくり食べられるような食堂を目指したいと思います。とにかくありがとうございました。

職員の提案制度についてお聞きします。一つのテーマについて部署を超えて検討するワーキンググループについて、人事課は把握されていますか。

それは、知事をはじめ理事者という上位から仕事としての位置付けがなされ、限られたテーマのみを話し合う庁内会議で、また、若手や専門知識を持った職員の意見も参考にする、とても良い機会だと思います。現在動いているワーキンググループの現状を教えてくださいたいと思います。

高崎企画総務部次長

ただいま岡田委員より、現在動いているワーキンググループの現状について御質問を頂きました。

県職員で構成され、庁内における連絡、調整などを目的とした、要綱や要領に基づき常設をしている庁内の会議につきましては、人事課においても調査して把握しているところでございますが、委員お尋ねの、一つのテーマについて部署を超えて検討するようなワーキンググループやプロジェクトチームなどについては、全体の現状を把握しておりません。

岡田（晋）委員

ワーキンググループは、それぞれの与えられた行政課題について、差し迫った問題をチームで解決するという必要な組織だと思います。

それとは別に、職員が部局を超えて互いに徳島県のことを考え、共同で課題を研究する自主研究グループを作ってもらい、県としての経費の節約とともに、収入の増加や組織の活性化の研究成果を提案していただくなど研究テーマも加え、自由な発想で、何でも県民のためになる研究ができる仕組みづくりについてお聞きします。

現在は、そういった自主研究グループや職員提案制度はないと思います。後藤田知事と県庁食堂でお会いしたときに、知事から、職員からいい提案をしてくれたらやりますよと言われました。県庁を見渡すと、職員が直接提案する機会や仕組みが余りないと思います。

そこで、こういった制度の創設について提案したいと思いますが、どうでしょうか。

高崎企画総務部次長

ただいま岡田委員より、職員提案制度の創設についての御提案を頂きました。

担当業務にかかわらず、若手職員などによる柔軟な発想によるアイデアを施策に反映させるといった取組につきましては、政策立案に携わることで広い視野を持つ意識が生まれる、また、達成感につながり仕事に対するモチベーションが向上する、普段接点のない部局の職員との議論が刺激になるなど、職員の人材育成といった観点からも、一定の利点がある

存在すると認識しております。

一方で、職員はそれぞれの所属における戦力として担当業務に習熟し、上司等の指導や助言を受けて、しっかりとその役目を果たすことが第一義でございます。また、超過勤務縮減の観点から、職員の負担にならないよう、十分な配慮が必要だと考えております。

職員の退職増が見込まれ、採用が難しくなる中で、超過勤務につきましては、全国的に見ても他の自治体等より高い水準にあり、この負担軽減等を図ることが喫緊の課題であると考えております。

このため、昨年度より、現在も継続いたしまして、全職員を対象とした魅力ある職場環境づくりに向けましたアンケートを実施しているところでございます。その声に応える形で職場環境の改善につなげているほか、本年7月からは、同一週内における勤務時間長短の選択、また、先ほど委員からも御紹介いただきましたお昼休み時間の選択制、また時間単位や自宅以外でのテレワークの実施など、より柔軟な働き方の実現に向け、試行的な取組を進めているところでございまして、今後、本格導入に向けた検証を進めることといたしております。

また、昨年度に設置いたしておりました、各部の若手職員で構成する魅力ある職場環境づくりプロジェクトチームでは、万代庁舎のWi-Fi化、庁舎の快適化、誰もが利用しやすいコミュニケーションスペースの設置などにつきまして、知事に直接提言も行い、職場環境の改善につなげたほか、観光スポーツ文化部の設置やこども女性相談センターの集約化など、令和6年度の組織再編にも反映をさせていただいたところでございます。

引き続き、職員から寄せられる多様な御意見や御提案につきましては、制度主管課等の関係部局とも共有させていただき、具現化に向けた検討促進をしてまいるとともに、委員から御提案のありました職員提案制度につきましては、職員の負担増加につながらない手法の研究も含めまして、課題を整理したいと考えております。

岡田（晋）委員

詳細にわたって説明いただきました。是非相談して、制度の創設をお願いしたいと思えます。そして、その職員提案制度により提案された個人の提案やグループの提案が直接知事に届く仕組みがないと、せっかくの良い提案も具現化しません。仕組みを作る上でとても重要だと思いますが、それに関してのお考えをお願いします。

高崎企画総務部次長

ただいま岡田委員より、職員からの提案が直接知事に届く仕組みということで御提言いただきました。

職員からの提案の具現化を図る取組につきましては、職員育成の観点やモチベーションの向上はもとより、県民目線による県行政の推進の観点からも有効であると認識しております。

昨年来、知事とプロジェクトチームとの意見交換や、知事と職員とのランチミーティングなどの実施によりまして、フラットで風通しが良く、職員が自由な提案を行うことができる組織風土の醸成に努めているところでございます。

引き続き、職員が提案を行いやすい環境づくり、仕組みづくりに努めまして、寄せられ

た職員からの御意見や御提案につきましては、関係部局にも御協力を頂きながらではありますが、一つでも多く具現化できるように進めてまいりたいと考えております。

岡田（晋）委員

これらの創設による取組で自分たちの提案が採用されることにより、自分は県庁の歯車の一つではなく、歯車を動かす原動力だとの認識も生まれ、職員のやる気にもつながり、職員全体のスキルアップが図られると思います。提案を採用して、県民の皆さんが便利になり、住んで良かったと実感のできる徳島県になることをお願いして、この質疑を終わります。

次に、管財課にお聞きします。

知事公舎について、公舎としての存続は好ましくないとする有識者会議の意見を踏まえ、知事は2月定例会所信表明で、全庁的に利活用の可能性も踏まえて検討したが、今後の利用予定はない、公舎の維持管理による将来的な県民負担も鑑みて売却するとの方針が示されました。そして、既にも買いたいという話も幾つか聞いている。例えば、ホテルが少ない徳島県で、そういったものを造ってもらうやり方もあると言われていましたが、その後、財産の処分はされたのでしょうか、お尋ねします。

千崎管財課長

ただいま岡田委員から、旧知事公舎の売却に向けた進捗状況について御質問を頂きました。

旧知事公舎につきましては、さきの2月議会におきまして、知事が売却方針を表明し、現在、土地の測量及び境界確認、地図訂正、不動産鑑定等を行っているところでございます。進捗につきましては、適宜、議会に報告してまいりたいと考えております。

岡田（晋）委員

ちなみに、2023年度の路線価に基づく知事公舎の土地の評価額は7,455万円とのことなので、入札時の予定価格を決定するに当たり、不動産鑑定のみを基準とするのではなく、できるだけ売却収入が多くなるように努力をお願いします。

また、知事公舎の売却は、土地の面積が2万㎡に満たないため、地方自治法第96条第1項第8号の財産の処分について、議会の議決事項となりませんが、高額物件の処分となりますので、議会への報告については、しっかりとさせていただくようお願いします。

次の質疑に移ります。

6月の本委員会でお願した、県庁来庁者駐車場の狭かった区画が広くなるよう線引きしていただき、幅が2m10cmであったのが2m65cmと55cm広がり、来場者の皆さんが喜ばれています。ありがとうございます。

同時に、県庁正面玄関ロビーにあった、大きなケース入りの阿波おどり人形も撤去していただき、庁内案内もタッチパネルにされて良くなったと思いますが、管財課に行きたくて課で検索すると、会議室がずらっと出てきて、目的の管財課はなかなか表示されません。どうかならないものなのでしょうか。

また、先週の水曜日、昼休みに玄関ロビーに展示されている、海洋ごみの啓発展示を見

に行った時のことですが、来庁者が右側の壁にある庁舎各課案内板を見て、なかなか目的の課が探せないで戸惑っていた様子を見て、庁舎案内のタッチパネルの場所に案内しました。その方は、経営審査の書類提出に来られて、訪ねていく課の名前を知らなかったもので、庁舎案内のタッチパネルでは業務内容の検索はできないことから、訪ねる課が分かりませんでした。主な業務内容の検索がタッチパネルでできるように改良していただくと、来庁者がとても便利になると思いますが、いかがでしょうか。

千崎管財課長

ただいま岡田委員から、正面玄関に設置されたタッチパネルについて、2点御質問を頂きました。

正面玄関の案内カウンターにつきましては、本年2月に撤去し、現在、人による案内は県民ふれあい課職員及び衛視が行っており、来庁者の多くが正面玄関に設置している案内板を頼りに目的の場所に向かっているものと認識しております。

委員お話しのタッチパネルの表示順につきましては、現在、検討を行っているところでございます。

また、デジタル技術を活用した総合案内業務は、来庁者サービスの向上や職員の業務負担軽減に貢献するものと考えております。人手不足の解消や業務効率化を図る目的でAIを活用した案内システムを導入する自治体は増えており、費用や導入の効果等について検証するなど、関係課とも連携し、今後、検討を進めてまいりたいと考えております。

岡田（晋）委員

是非とも便利な県庁の案内表示タッチパネルに改善して、来庁者の利便性向上に向け努めていただけたらと思います。

次に、県民ホールに設置されているストリートピアノについてです。とても良い取組だと思います。しかし、配置が壁に向かってであり、ストリートピアノとは言い難い、壁際に置かれた練習ピアノのようです。そして、昼間であっても弾くことができる時間が限られています。

今月2日の午後6時前に、私が部屋を出ると、ピアノの音色が聞こえていたので、県民ホールに行きました。家族連れ4人で来られていた親子が代わる代わるに弾かれていたので、リクエストをお願いしたところ、小学生の男の子が新町小学校の校歌を弾いてくれました。校歌演奏ともなれば歌いたくなります。時間外でもあったので、小さな声で歌ってくださいとお願いし、親子で気持ちよく歌ってくれました。聞いていると、とても心地が良く、1日の疲れも吹っ飛びました。

あの場所での設置は庁舎内であり、演奏時間や演奏の制限をしていますが、常時演奏するわけではないので、時間制限をなくしても直接業務に支障はないと思いますが、いかがでしょうか。

そして、ストリートピアノという限り、配置も人通りに向かって、演奏を正面から見てもらえる向きにするか、正面玄関に持って行き、来庁者に聞いてもらえる場所に移動するのも一つの方法だと思います。

せっかくのストリートピアノです。多くの人に聞いてもらえる目立った場所に設置する

と良いと思いますが、いかがでしょうか。

千崎管財課長

ただいま岡田委員から、ストリートピアノの設置場所及び使用ルールについて御質問を頂きました。

県民ホールに設置のストリートピアノにつきましては、株式会社黒崎楽器様の御協力により7月26日から設置しており、設置以来、多くの方々に利用していただいております。特に、夏休み期間中は、これまで県庁を訪れる機会が少なかった小中高生がピアノを弾く光景も見られるなど、ストリートピアノを通じ、にぎわいが生まれ始めております。

設置場所や利用のルールにつきましては、黒崎楽器との協議により決定したものであり、アップライトピアノにつきましては、音の反響を考えると、壁に向かって設置するのが一般的であるとの助言を頂いております。

また、歌唱の禁止や利用時間につきましても、これまで、黒崎楽器が道の駅や商業施設に設置した際のルールを参考に利用させていただいております。

利用者の声もお聞きしながら、今後も、県民の皆様にとって開かれた県庁、職員にとって魅力ある職場となるよう、取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

岡田（晋）委員

是非とも、ピアノを提供していただいている黒崎楽器さんに相談され、せっかく提供いただいたストリートピアノです。県庁に演奏に来られる方を増やし、素晴らしいピアニストが徳島から誕生するきっかけの場となるよう、前向きな取組をお願いして、私の質疑を終わります。

浪越副委員長

私から、1点だけ確認も含めて質問させていただきます。

先ほどの知事と市長の合意についてであります。理事者では、組織として合意したと認識しているといった答弁であります。重要なことなので、副委員長の私からも確認させてください。

先ほどの答弁の組織とは、具体的に何を示すのか。また、徳島市なのか、市議会も含めてなのか。正確にお答え願えますか。

吉岡知事戦略公室長

本日午前中に木野内統括監が答弁させていただきました、組織についての御質問でございます。

答弁させていただきました組織の意味についてでございますが、執行機関である徳島市のことでございまして、その長である徳島市長と知事が合意したものと認識しているところでございます。議事機関、議決機関でございます市議会までを含めたものではございません。

なお、本日、委員会資料の別紙として配布しております、知事と市長が合意した県都の

まちづくりに関する今後の取組方針におきましても、県議会、徳島市議会に対し、十分な説明を行い、県市協調の下、県都のまちづくりを推進するとしておりまして、これに沿って、現在、徳島市において市議会への説明がなされていると承知しております。

浪越副委員長

分かりました。

それでは、市議会が入っていないということで分かりましたので、県においてもしっかりと、県議会への説明をしていただきまして、県市協調の下、このまちづくりを推進していただきたいと考えております。

福山委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

この際、委員各位にお諮りいたします。

ただいま坂口議員から発言の申出がありました。

この発言を許可いたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

それでは、坂口議員の発言を許可いたします。

なお、委員外議員の発言については、議員一人当たり1日につき答弁を含め、おおむね15分とする申合せがなされておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは質疑をどうぞ。

坂口議員

15分と時間が短いので端的に答弁いただければと思います。

昨日の経済委員会において、観光スポーツ文化部長より、次の知事コメントがございました。冒頭、一日も早く新ホールを造りたいとの思いが強く、その焦りからこのような投稿になった。対立をあおる意図はなかったとはいえ独善的とも言える表現に対し、議会や県民から多くの御批判を頂いたことを反省し、知事として今後、このような投稿は慎むというコメントがございました。

ここで、再度お伺いします。重複するかもしれませんが、このコメントですが、本当に知事からのコメントということでよろしいのでしょうか。時間がございませんので、イエスカノーでお答えください。

一ノ宮知事戦略公室上席秘書幹

議員から、昨日の経済委員会での佐藤観光スポーツ文化部長の発言について、本当に知事からのものかということでございます。

これにつきましては、私どもから、知事に確認した内容で間違いございません。

坂口議員

確認した内容ということは、知事がということでよろしいですか。よろしいですね。

一ノ宮知事戦略公室上席秘書幹

はい、知事がというところで間違いございません。

坂口議員

では、知事が発せられたコメントで、先ほど声を大きく言った、反省と慎むの部分なんですけども、私も、反省って何だろう、慎むとは何だろうと、実際に辞書で調べてみました。

反省とは、普通の捉え方や自分の普段の行動、在り方を振り返って、それで良いか考えるとあります。また、慎むとは、振る舞いの上で過ちをしないように気を付ける、乱れないように控えめにするとあります。

ですが、昨夜、知事はXにおいて以下のコメントを行っております。一步先の日本は、徳島から。日本一生産性の高い経済を目指し、日本一居心地の良い社会を目指しています。ここで、前向きな徳島県の皆様と共にとございます。先ほど岡委員からもあったと思います。

ウェブニュースは、やはり厳選され、正確かつ中身のある報道とございます。

それだけではなく、また今朝も懲りずに以下のコメントをされています。さすが全国紙、よく調査して、全国を見ながら、的確な内容ですね。徳島新聞と比較してくださいとあります。

またそれだけではなくて、今日も昼前に、Facebookで以下のコメントをしています。全国づくりすら見て勉強していない政局ばかりのメディア、労働組合との争いもあるようなので、大変なのではないかというコメントもされています。

これらのコメントを鑑みると、これは私の一方的なうがった見方になるかも知れませんが、反省、慎む、これは知事御自身のコメントですよ。これは当てはまらないように受け取れるんですけども、このコメントに関して、どのように考えられておられますでしょうか。お答えください。

一ノ宮知事戦略公室上席秘書幹

私も常々、知事とコミュニケーションを図っているところでございます。知事は、民主主義社会におきましては、賛成、反対それぞれの意見、議論を行うことが重要であると、我々にも伝えていただいているところでございます。

先ほどもおっしゃった、SNS等における様々な文脈や内容につきましても、賛成、反対の立場から御意見があるということでございまして、そういういろいろな御意見を頂くことはいいと、歓迎するとの趣旨での投稿であると、我々は捉えているところでございます。

坂口議員

苦しい御発言のように感じます。

私もXとか、各種SNSでコメントを拝見させてもらっています。その中で、御自身にとって前向きなコメントの方には返信されているようなんですけども、自分に否定的なところ

に対しては、何もおっしゃられてないんです。それで、冒頭お話ししました、知事がコメントされたと先ほどお答えいただいたんですけども、そのコメントどおりじゃないな、本当に反省しているのか、慎んでいるのか。その慎むの部分には、乱れないように控え目にする、だから、これを控えめにしているというふうにおっしゃっているのかもしれませんが、ちょっと私は、そう受け取ることができません。

余り時間もないので、1点要望したいと思っております。これらの知事のコメントは、各メディアさん、今日もいらっしゃっておられますけども、そこに対する一部内政干渉みたいなところも、県議会への議会軽視というものもあると思います。

それだけではなく、徳島県69万人への県民軽視でもあると、私自身は考えております。

知事がSNSで発信されることは、個人のあれなのでというのはあるんでしょうけども、Facebookには、知事の肩書きというところに多分、政治家とか公人と書いてあるんです。公人が発するのが、こんな感じでいいのかなって思います。徳島県民69万人だけではなく、このSNSというのは、日本語を読める読めないはもちろんあるんでしょうけども、全世界80億人に発信されているわけなんです。

そこで、新聞メディア等で、知事のコメントというのがあるようですが、これは、四国放送、NHK、徳島新聞は県内ローカルなんです。だから、世界の80億人に、何もこれは発信されてないと。知事のSNSの発信が全てと捉えられてしまうおそれがあるなという部分があるので、私としては、昨日、観光スポーツ文化部長がされた知事のコメントという部分を、知事のSNS、各種インスタグラム、X、Facebookがあると思うんですけども、そちらのほうで、知事が自らされたというコメントを発信していただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

一ノ宮知事戦略公室上席秘書幹

今、議員から知事の個人のSNS等に、昨日出させていただきました知事のコメントを載せたらどうかというところでございます。

これにつきましては、私から、本日の総務委員会でこのようなお話があったとお伝えすることで考えてございます。

坂口議員

政治家は、説明責任があると思うんです。で、知事の今のコメント、FacebookやいろいろなSNSのコメントというのが、何かちょっと違うなと私自身感じています。やっぱり責任を持って発信されているのであれば、間違った、反省している、慎むという思いが本当にあるのであれば、SNS等で是非発信していただければと思います。

私も含め、人間完璧ではないので、間違ったこともします。私も4歳の息子がいます。で、やっぱり悪いことしたら駄目でしょって怒ります。そしたら、ごめんなさいって言えるんですよね。そのごめんなさいというのが、本当に分かってごめんなさいと言っているのか、理解して謝っているのかって分からないと思うんです。間違ったことは間違いましたということをやっぱり発信するべきだと思いますので、先ほど御答弁いただきましたように、知事と相談するのかどうか分かりませんが、改めて、昨日の佐藤観光スポーツ文化部長がされたコメントを知事のSNS等で発信していただければと思いますので、よろ

しくをお願いします。

福山委員長

委員各位にお諮りいたします。

ただいま立川議員から発言の申出がありました。この発言を許可いたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

それでは、立川議員の発言を許可いたします。

質疑をどうぞ。

立川議員

午前からの質疑を聞いておりまして、玉突きについて、知事戦略公室の木野内統括監から説明もございましたけども、藍場浜公園西エリア案、時系列での説明の中で現行案より大きなメリットがある、適地であるっていうのが分かってきたという説明もございました。

そもそもの話になるんですが、この新時代のまちづくりビジョン、県都のグランドデザイン、森となるまちづくり構想は知事戦略公室が作成されたのか、教えてください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

県都のグランドデザインをどの部署で作ったのかという御質問でございます。

知事戦略公室において、各部局調整の上、県として作成したものでございます。

立川議員

各部局調整とおっしゃいましたけども、主は、知事戦略公室でしょうか。教えてください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

主体といたしましては、知事戦略公室でございます。

立川議員

知事戦略公室が主となり作られたということで、ちょっと次に移りますけども、昨日の経済委員会に出させていただきまして、ここでもちょっと言わせていただいたんですが、先日の徳島市の総務委員会で、企画政策部長が、6月の市議会でいろいろ御指摘があったので県へ確認されたというところで、旧徳島市文化センター跡地に車両基地を移転するのではなくても、新ホールを藍場浜公園西エリアで整備したいと考えていると県がおっしゃったと言うんですね。

この新時代のまちづくりビジョン県都グランドデザインが主として計画された時点で、あと、令和5年11月に我々議員に説明された時点で、今言っていたみたいに、車両基地の移転の可、不可に関係なく、既に藍場浜西エリアで整備をしたいと考えられていたのか、いなかったのか教えてください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

令和5年11月時点で、車両基地の移転がなくてもホールを移すと考えていたのかという御質問でございます。

先ほどとちょっと重複するんですけども、この全体構想を検討する中で、車両基地はそのメリットを鑑み、旧徳島市文化センター跡地へ移転する必要があると考え、そのように検討し、あわせてホールの適地として藍場浜公園西エリアと変更することを、同時に一連のものとして検討に着手したところでございます。

立川議員

分かりました。

これは午前の岡委員の質疑にもございましたけど、この玉突きとか、グランドデザインの説明の中で、私自身は岡委員と同じ認識です。やはりこの北口開発があって、車両基地が来て、それで今玉突きっていう言葉を使っていますけども、これで押し出される形で、藍場浜西エリアになっていった。

その認識の下でお伺いしますけども、今、木野内統括監がおっしゃっていましたが、初めから変わってないということですね。我々に説明して、我々がそういうふうに認識したけども、県としては初めから変わってないということですのでよろしいですね。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

令和5年11月の説明を覆すとか否定するものではなく、説明は変わっておりません。

立川議員

ちょっと言葉が抜けましたけど、岡委員の質疑の中で、変わったんだったら変わったような説明があったのか、なかったのかという質問だったと思います。それで、初めから変わってないんですか、そういう認識でよろしいかということで、今聞かせていただきました。もうこれはこれで終わりました。

そうすると、令和5年11月24日の知事の定例記者会見で、しっかり知事が玉突きという言葉が使われて発言されているんですね。ルービックキューブじゃないですけど、一つの回転によって、車両基地を移設していくと、それがいろんなものによって変わってきて影響してくると。そういうふうな説明もございました。で、車両基地が移転する、そして、今申し上げたような現在の計画地に移転するということになる。じゃあ新ホールはどこに移りますかと、こういうことですよ。まあこういったくだりのことがあって、いわゆる玉突きであるというような説明がされております。

で、昨日の経済委員会からのお答えを聞いていると、県として、担当課とかそういうところは玉突きという認識ではなかったということだったんですけども、実際、知事が玉突きとおっしゃっていたので、これって知事と担当部局の認識の違いがあると思うんです。

その時点で、知事戦略公室が、知事にちょっとこの玉突きっていうのは違いますと、そういう御説明をされると皆さんに誤解を与えてしまう可能性があるかもしれないので訂正してくださいとか、この認識の違いを修正されたというのはあったのでしょうか、なかったのでしょうか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

知事の玉突きとの発言についての御質問でございます。

御指摘の件は、令和5年11月24日の定例記者会見での発言のことかと思います。この発言につきましては、重複しますが、先ほど申したまちづくり構想全体を検討する中での、車両基地、また同時に検討した新ホールの適地としての藍場浜公園西エリアに変更することを、知事として分かりやすく説明したものと考えておりまして、県からこの表現、あるいは玉突きの有り無しといったことはお伝えしておりません。

立川議員

知事が分かりやすく説明されたということなんですけども、私は素直に玉突きと理解したので、私が誤解した。玉突きという状態で理解されている議員さんもおると思うんですけど、我々が誤解したということではよろしいでしょうか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

この議論につきましては、イエスかノーか、有り無しでお答えしますと、誤解を生じさせてしまいます。重複しますので、重ねては申しませんが、経緯が重要であると考えておりまして、時間経過で申し上げたことが正しい現状になろうかと認識しております。

立川議員

時間や認識ではなくて、二元代表制の中で、執行側と議員が議論していく中で、誤解が生じているんです。その誤解が生じていることが問題であって、それが今まできて、こうやって遡ると誤解の原因はここにあったんじゃないのかと。では誤解を解かないまま、閉会日の予算案を出すのですか。これは誤解が解けてないと思うんですけど、このまま閉会日に追加で予算案を出していかれるつもりでしょうか。お答えください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

この当時の説明につきましては、まちづくり構想全体の中で、二つを同時に一連のものとして検討に着手したということで、先ほど申し上げたとおりでございます。現在は、その後の調査の結果で、ホールは藍場浜が最適地であるという考えに至ったという時間軸で申し上げたところでございまして、誤解がということでございますが、県といたしましては先に説明した内容を変えるとか、否定するものでもないと考えております。

議会のほうからの誤解があるという点については、真摯に受け止めさせていただきます。

立川議員

ごめんなさい、現在は変わっているというのは、この前は、変わってなかったんですか。どういうことですか。ちょっと理解ができないです。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

当時の説明といたしましては、車両基地の移設とホールの場所の変更は、同時に一連の

ものとして県から説明させていただいたと認識しております。

立川議員

そういう説明をされたけども、私は少なくとも誤解してしまいました。今までの議論の中でもそうやって思っていたんです。それで遡って、やっぱり俺がおかしいのかなと思って、去年の11月にグランドデザインが出たときからの執行部の会派説明の議事録があるわけじゃないんですけど、そのときに言われて認識したことと、当時、村上政策監補が来ていましたけど、村上政策監補に質問したことの僕の記憶、その後をたどりながら、過去から見ても、いや俺やっぱり間違っていないよなと思っていたんです。改めて聞きますけど、その玉突きは誤解だということによろしいですね。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

県といたしましては、当時の説明は車両基地とホールの場所の変更は一連のものということで併せて御説明しておりますので、誤解という御指摘でございますが、構想全体の中で一連のものとして説明しているところございます。

立川議員

はい、分かりました。

分からんけど、ちょっと僕は理解が進んでないけども、やっぱり、今この玉突きっていう言葉もあれだけど、こう押し出されるというか、まちづくりの一連の構想の中のスキーム上で、こういうことがあってというので藍場浜案が出てくるわけだけども、いわゆるこの玉突きで理解されている議員が多くいて、それが今誤解だという話をして、しかも、もう目の前に、予算案が出る出ないの状態のときに、改めて確認したら誤解なんですと。

やはり予算を出すにしても、これは早過ぎないかなと、私はちょっとそのように思います。まちづくり・魅力向上対策特別委員会もありますので、またそちらでも気になることがあれば聞かせていただきたいと思いますので、今日はもうこれで終わりたいと思います。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

先ほど私が、グランドデザインの担当課を知事戦略公室と申し上げましたが、当時は政策創造部でございます。訂正いたします。

福山委員長

委員各位にお諮りいたします。

ただいま井下議員から発言の申出がありました。

この発言を許可いたしたいと思いますがこれに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

それでは、井下議員の発言を許可いたします。

質疑をどうぞ。

井下議員

先ほど吉岡知事戦略公室長が、まちづくりについて、これまで進んでこなかったかのような発言がございましたが、非常に残念だなと思います。というのも、前任期から、僕は4年目ですけど、1年目からこの土地交換から始まり、市長も変わりましたし、知事も変わりましたが、我々県議会としてはしっかりと県と一緒に頑張って取り組んできたと思っております。県民の皆さんの声もいろいろと聞きましたし、また理事者の皆さんで担当課の方も一生懸命やられていたのを知っているだけに、非常に残念だなと思っております。

それと、先ほど来ありますけど、SNSの件でございます。

ちょっと教えていただきたいんですけど、知事の発言の中であおってはないということですが、政争の具に使う政治家、政争をあおる新聞、足を引っ張るのは誰かって書いてあるんですけど、答えられたらいいんですけど、政争の具に使う政治家っていうのは誰のことなのかちょっと教えていただきたいんですけど。

それともう1点、ついでに、反対のための反対は受け入れられないとのSNSの投稿もございましたが、ここにある反対というのは何のことを指しているのか、ちょっと教えていただけたらと思います。

一ノ宮知事戦略公室上席秘書幹

知事のSNSでの様々な表現についてということでございますけど、私どもとしてはその言葉が具体的に何を指すのかということにつきましては把握できていないというところでございます。

井下議員

ですよね。知事じゃないと分からないと思いますので、この辺は是非また知事に説明していただけたらと思います。それと、あえて言いますけど、これは我々を指しているのか、先ほど東条委員もスタートから、足を引っ張っている政治家かななんて言ってましたけど、16人の議員が緊急質問に賛成したり、公聴会をお願いしたりしたところですが、そもそも賛成も反対も分からないから公聴会をさせてくれ、聞かせてくれと言っているんであって、現段階でなぜ反対とか賛成とかというのが、決めつけられて物事が走っているのか全く理解ができません。

この辺は知事じゃないと当然答弁ができないということですので、そのとおりでしょう。また知事に聞くしかないなと思いますし、そういった機会を作らないといけないと思っておりますので、議員の皆さんにも、最大会派の皆さんも含めて協力をお願いしたいなと思います。

それと、合意についてでございますが、市長は個人として合意ということで、先ほど来これも様々ありますが、結果、私はさんざん聞いているけど全然訳が分かりません。全ての議員の代表質問、一般質問に対して、市と合意した前提で答弁なさっていると思うんですが、もしこれが市と合意という認識のずれがあるのであれば、全ての答弁に対して、微妙に認識が変わってくると思うんですけど、その辺いかがですか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

県市の合意につきましては、先ほど知事戦略公室長より申し上げたとおり、執行機関で

ある徳島市、その長である徳島市長と知事が合意したということで間違いございません。

井下議員

そうじゃなくて、それはそれでよく分からないラインだからいいんだけど、もし仮に市長が言うように、あれは飽くまでも私個人の合意でしたとなったときに、県がこの間した皆さんの質問に対する答弁は、市と県で合意したというのが前提で答弁されていると思うんですが、この辺の大前提が崩れませんか。崩れたときに答弁の内容が全て変わりませんか。大丈夫ですか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

市長が発言された個人うんぬんについてはコメントする立場にございませんが、いずれにしても、今まで、県、知事戦略公室でした発言又は申した内容については、それによって変わることはございません。

井下議員

分かりました。

変わらないですね。絶対変えたら駄目です。市が違うと言っても、県は答弁した内容を変えないですね。合っているんですね。市と合意の認識も、合意できているってことですね。いいですね。分かりました。

であれば、例えば今後なんですけど、市も会期延長して今後いろいろと話を聞いていくということなんですけど、仮に、予算を最終日に執行して、このまま市とのコンセンサスが取れない場合、どういうふうに出るか分かんない。前向きに進めばいいんでしょうけど、進まなかった場合、これは誰がどのように責任をとられるのか。例えば、県市協調でなくとも、任期内に着工を目指して県単独でホールをやっていくという可能性はありますか。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

このまま市とコンセンサスが得られなければどうなのかという御質問でございます。

冒頭、平山委員にお答えしたとおり、県から基金の規模についても、制度設計についてはまだお伝えしていない状況ですので、これはお伝えする必要があるとは考えておりますが、それ以外の、県と市について、この資料で付けております今後の取組方針については合意した、またコンセンサスも取れておると考えております。全て事業についてはその上で考えているところでございます。

井下議員

県の意見としては取れているんでしょう。

でも何か僕らから見ると、どう考えても市のほうはそんな雰囲気じゃないんですけど、大丈夫ですか。先ほど、玉突きか玉突きじゃないかの話もしてますけど、これも後出しじゃんけんみたいにしていても仕方ないと思います。何ていうか、県のこれまでのやり方ってこんなやり方でしたか。もうちょっと理論立てて整合性も取ってやっていた気がするんですけど、何か知らんけど、余りにも雑だなあというふうに感じております。残念で

す。

これもちよっとお伺いします。

11月議会から、これまで様々議論をしてきたと。だから、予算を出してくるんだという雰囲気のこと言っておりますが、私の記憶では11月議会から議論できるようなものを一切出してもらっていないんですけど、いいですか。その辺出していますか。議論できるようなものを出しているのであれば、張り切って御説明ください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

井下議員から、議論できるものを県から説明しているかという御質問でございます。

本会議において御説明した内容を申し上げますと、令和 5 年 11 月議会本会議におきまして、ホールの今後につきまして、大ホールは 1,500 席、小ホールはあわぎんホールを活用するという方針の説明、コストスケジュールを示すために調査を行うという方針、また今任期中のできるだけ早い段階で工事着工、その後おおむね 3 年間で竣工するという、こちらは工事のめどにはなりますが、それをお伝えいたしますとともに、2 月議会では、その調査の中で事業費とスケジュールを明らかにする旨、また地質調査も行う旨、その結果を 6 月定例会でお示しする旨をお伝えしています。

その後、令和 6 年 6 月議会でホールの事業費について、142 億円ということで県から御説明し、スケジュール、埋蔵文化財の状況について、またホールのキャパシティということで 1,500 席以上、様々な演目へ対応する件、またヒアリングを実施する旨を答弁させていただいたところでございます。その後の市長との協議等は今回説明した内容のとおりでございます。

井下議員

今みたいに、希望はたくさん聞きました。それは僕も記憶にあります。こんなのが良いです。こんなのができます。でも、その背景にある、例えば市との協定をどうするのかとか、一番大事な部分はこれまで一切何も出てきていません。

その上で議論したと言われても、現段階で賛成も反対も正直ないですよ。逆に賛成できる理由を教えていただけたらいいんですけど、反対できるというとおかしいけど、今のままで賛成できないから結果的に反対になっちゃうというだけであって。

先ほど 11 月議会でもいろいろとお示ししてきたということなんですが、もう一回玉突きの話もしますが、11 月に、北口開発の基盤整備に一刻も早く着手する必要がありますと、最大会派の答弁に対して、駅北にある車両基地を現在の新ホール計画地への移設検討を行うに当たり、新ホールの建設地を変更する必要があるって書いてあるんです。玉突きですよ。だから今になって違う話をされても、議論してきたかどうかすらよく分かりません。

僕からしたら、まだ玉突きの方がいいんじゃないですか。だってグランドデザインを出してきたのが 11 月で、11 月にこうやって言っとなのに、今になってやっぱり違いましたという、県議会の中の議論でも更に振り出しに戻りませんか。

それともう 1 点、この 6 月定例会で、新ホール整備については駅北の開発に向けた車両基地の移転に伴って書いてありますんで、先ほど坂口議員も言ってましたけど、辞書で

伴いって調べてみてください。伴い藍場浜に移すって書いてますけど、だから6月までは少なくとも玉突きだったんでしょう。

また玉突きでそのままきいていただいたほうが、更に議論はしたかったなというふうに思っておりますが、いずれにせよちょっと時間がないので言いますけど、遠藤市長は、先日、全員協議会か何かに出られて、自らの口で今回の合意した、合意していないの説明をされております。自分の個人の見解でございますと言っているんですが、あとうちも委員会というまちづくり・魅力向上対策特別委員会ぐらいしかないんですけど、知事が直接ここに来て、やっぱり自らの口で説明しないと、閉会日に本当にこのまま予算を付けてやると、いろんなことが後戻りできなくなりますか。何か宙ぶらりんになりませんか。ものすごい中途半端な……。多分前に進まないですよ。

一刻も早くやるんだったら、もうちょっと丁寧にやらないといけないし、何回も言いますけど、さっき冒頭にも言いましたが、これまで議論して現計画のホールでやってきたんです。どう考えたって、これが一番早いじゃないですか。

現計画派みたいなことを言われていますけど、そうじゃないです。理論的に整合性をもって考えたときに、現計画でやるのが一番早いんです。安くて。ただそれだけの話じゃないですか。反対とか賛成じゃないです。やっていることがむちゃくちゃです。

最後に質問しておきますけど、本当に閉会日に予算を付けるんですか。それと同時に、現計画を改悪していくんですか。この2点を教えてください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

2点、予算を閉会日に付けるのか、現協定を変えていくのかという御質問でございます。

予算につきましては、観光スポーツ文化部が所管しておりますので答弁を差し控えさせていただきます。

県市基本協定につきましては、県と市の今回の合意に基づきまして、改定に向けて作業を進めてまいりたいと考えております。

井下議員

先ほどから何度も言っていますが、知事戦略公室が、その辺をよそに振るというのはおかしいですよ。だったら次は、協議の場に全員連れていかないと駄目ですよ。吉岡知事戦略公室長だけ行って話をしているんですよ。何も分からんまま行っているんですか。そうじゃないでしょ。分かって代表して行っているんですよ。

だったら、やっぱりここでちゃんと答弁しなきゃ駄目です。分けて分けてやったって仕方ないじゃないですか。こんなもん逃げたって。時間がないんだからちゃんとやりましょうよ。県民の皆さんと我々の思いだって一緒です。県の皆さんだって一緒です。一刻も早く県民の方にホールを造りましょうよ。誰がやっているんですか、本当に。

それと、この契約解除もそうですけど、解除に向けてやるって言うけど、解除に向けてやるんだったら、それこそ市とちゃんと合意形成を取らないと駄目ですよ。契約自体は県とJVでやっているからいけると勝手に思っているのかもしれないんですけど、協定ではあの場所にホールをするためにあそこを受け持っているというか、契約しているんだから、そこはきちんと勝手に解約しないでください。いいですか。市とちゃんと合意を取った上

でやってください。いいですね。答弁ください。

木野内知事戦略公室戦略プロジェクト統括監

J Vとの契約につきましては、申し訳ありませんが、観光スポーツ文化部の所管になりますので、答弁を差し控えさせていただきます。

井下議員

もう何回も言いますが、その答弁をするんだったら知事戦略公室は要らないです。要らないし、代表になってないです。それでやっているから、こんなミスが起こるんでしょう。合意形成が取れないまま帰ってくるんでしょう。ちゃんと、それぞれの役割を果たしてください。以上で終わります。

福山委員長

それでは、これをもって質疑を終わります。

これより採決に入ります。

お諮りいたします。

知事戦略公室・企画総務部関係の付託議案は、これを原案のとおり可決すべきものと決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

御異議なしと認めます。

よって、知事戦略公室・企画総務部関係の付託議案は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

【議案の審査結果】

原案のとおり可決すべきもの（簡易採決）

議案第1号、議案第3号、議案第4号

次に、請願の審査を行います。

お手元の請願文書表を御覧ください。

それでは、請願第6号、日本政府が「日本国憲法の理念」を生かし、イスラエル・パレスチナ紛争の即時停戦、人道支援の徹底、早期の平和的解決に全力を尽くすことを求める請願を審査いたします。

本件について、理事者の説明を求めます。

上田企画総務部長

請願第6号、日本政府が「日本国憲法の理念」を生かし、イスラエル・パレスチナ紛争の即時停戦、人道支援の徹底、早期の平和的解決に全力を尽くすことを求める請願につきまして、国の動向を説明させていただきます。

昨年10月、ハマス等のパレスチナ武装勢力のイスラエルへの攻撃によって、一般市民が犠牲になるとともに人質として拘束されたことを受け、イスラエル軍が、自国及び自国民

の安全確保のために、ハマスが事実上掌握するガザ地区に対して、空爆や地上作戦を行う中、一般市民にも犠牲が生じております。

こうした中、日本政府においては、昨年11月、G7の議長国として、戦闘の人道的休止やその後の和平プロセスで一致した共同声明を取りまとめ発信するとともに、6月には国連安保理において新たな包括停戦案の履行を求める決議案に賛同し、即時の休戦や人質の解放等を実施するよう求めました。

また、去る7月11日のG7外相会議においては、我が国の立場であるパレスチナ国家樹立を通じた2国家共存による永続的で持続可能な平和に取り組むことを確認したところで

す。

日本政府においては、引き続き外交努力を通じ、関係国、関係機関との間で意思疎通を行いつつ、人質の即時解放、人道状況の改善及びそれに資する人道的停戦の速やかな実現に向け、粘り強く積極的に取り組んでいるところです。

以上でございます。

福山委員長

理事者の説明はただいまのとおりであります。

本件はいかがいたしましょうか。

（「採択」と言う者あり）

（「継続」と言う者あり）

それでは、御意見が分かれたので、まず継続審査についてお諮りします。

本件は、継続審査とすべきものと決定することに賛成の方は、御起立を願います。

（賛成者起立）

起立多数であります。

よって、本件は継続審査とすべきものと決定いたしました。

以上で、請願の審査を終わります。

【請願の審査結果】

継続審査とすべきもの（起立採決）

請願第6号

これをもって、知事戦略公室・企画総務部関係の審査を終わります。

次に、お諮りいたします。

委員長報告の文案はいかがいたしましょうか。

（「正副委員長一任」と言う者あり）

それでは、そのようにいたします。

次に、当委員会の閉会中継続調査事件についてお諮りいたします。

お手元の議事次第に記載の事件については、閉会中に調査することとし、その旨議長に申し出たいと思いますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

御異議なしと認めます。

よって、さよう決定いたしました。

次に、当委員会の後期の県内視察についてでございますが、10月25日に県中央部において、地域交流拠点や警察業務に関する調査のため、関係施設を視察したいと考えておりますがいかがでしょうか。

（「異議なし」と言う者あり）

それでは、さよう決定いたします。

北島委員

先ほど委員長報告について正副委員長一任という話がありましたけども、逆に、一任しないというやり方はあるのですか。私もまだ議員4年目、5年目なんで、委員長報告をどういうふうにするかは分からないんですけども、今回、こういった様々な議論がありました。そういった議論は、やはり本会議の中で県民の皆様にお伝えしないといけないと思います。この辺については、正副委員長一任で、我々が後で確認という形は取れるんでしょうか。

福山委員長

小休します。（14時26分）

福山委員長

再開いたします。（14時28分）

先ほど北島委員から、文案は正副委員長一任ということで、最後は皆さんにチェックしてもらおうようにします。よろしくお願いします。

これをもって、総務委員会を閉会いたします。（14時29分）